

2024 JCI 淡路 総合資料

Go Beyond!!

～今、この瞬間が未来へ繋がる～

一般社団法人 淡路青年会議所

2023年度事業報告並びに決算報告書

2023年度理事長 伊山 真司

1. 理事長報告	2
2. 副理事長報告	4
3. 専務理事報告	5
4. 諸会議報告	6
5. 委員会事業報告	12
6. 委員会別事業決算明細	24
7. 直前理事長報告	25
8. 出向報告	26
9. 監事報告	37
10. 会員動向	38
11. 役員名簿	39
12. 出向者一覧	40
13. 組織及び委員会構成	41
14. 褒賞	42
15. 決算報告	43
16. 監査報告	50
17. 資料	51

2024 年度事業計画並びに収支予算書

2024 年度理事長 横山 奈津紀

1. 理事長所信	75
2. 基本方針	78
3. 副理事長抱負	79
4. 専務理事抱負	80
5. 監事抱負	81
6. 委員長・公室長事業計画並びに予算及び役割業務	82
7. 出向者抱負	94
8. 正味財産増減予算	97
9. 役員名簿	99
10. 出向者一覧	100
11. 組織及び委員会構成	101
12. 年間スケジュール	102
13. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	103

2023年度 事業報告書

2023年1月1日～2023年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一般社団法人
淡路青年会議所

2023 年度 スローガン

機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～

2023年度 基本方針

一、 学びから得る心を大切にする

一、 何事も当然とせず研鑽を積む

一、 常に前向きな姿勢を貫く

1. 理事長報告

理事長 伊山 真司



まず初めに、一般社団法人淡路青年会議所の第 61 代理事長という立場をいただき、OB・特別会員の皆さん、メンバーの皆さん、そして多くの関係各位の皆様にご協力いただき、1 年間を全う出来ましたことを心より感謝申し上げます。これまで先輩方の背中を見て学ばせていただいたことを胸に、予定者段階から 2023 年度に行うべきことを三役はじめメンバーとしっかりと話し合い、共有できたことで一つの方向に向かって走り抜くことが出来ました。無事に今年度を終えられる喜びは何事にも代えがたく、理事長としての責務を全う出来たと感慨深いものがあります。この一年で得られた素晴らしい経験を次年度以降はメンバーに伝え、共に活動することで今年よりも来年がさらに素晴らしい年となり、LOM の発展に繋げられるよう努めて参ります。

本年度のスローガンといたしまして「機に勇ましく～新たな可能性を生み出すために～」を掲げさせていただきました。青年会議所には様々な成長の機会がありますが、それは決して与えられるものばかりではありません。自らで気づき、しっかりとその機会に向き合うことで成長が得られ、自身の新たな可能性というものが見えてくると私は考えます。今年度、多くのメンバーがその想いに応えてくれ素晴らしい景色を魅せて頂きました。そのことが大変有難く本当に嬉しく思います。その中でも、今年度最も大きな出来事として挙げられるのは持続社会開発事業です。「淡路はひとつ」を基本理念にする JCI 淡路が何をすべきかを考えた時に、やはり島が一つとなって「淡路島」と言うしっかりとした自治体で取り組む必要性を訴えていくことが私たちの使命だと感じ、そのために一体何ができるのかということを考えることから始まりました。少子高齢化によって過疎化が進行する淡路島で、行政サービスを低下させることなく安心して暮らせる地域にしていかなければ淡路島に未来はありません。そして三市ではなく一市として行政が動いていける、

その可能性を信じて 7 月 9 日にデジタル大臣 河野太郎氏、デジタル庁参与 伊藤伸氏、淡路島内三市長をお招きして行政 DX をテーマにフォーラムを開催させて頂きました。河野太郎大臣にはご講演を頂くとともに、伊藤伸氏をコーディネーターに河野太郎大臣、三市長を交えてパネルディスカッションを行わせて頂き、当日ご来場いただいた 400 名を超える方々に、行政 DX が何なのか、愛する淡路島の未来にどう繋がるのかについてご理解いただけたと感じております。開催するにあたってはメンバーの皆様方には大変な苦労をおかけし、OB 諸先輩方には寛大なるご理解を頂き本当にありがとうございました。

最後になりましたが、今年一年がメンバーにとって淡路島の未来を考え信念をもって行動に移すことでどんな壁も乗り越えられることを実感し、本年で得た様々な経験や絆を 2024 年度への足がかりとなること、そして明るい豊かな淡路島実現が近い未来であると節に願うとともに皆様のご支援ご協力に改めて厚く感謝を申し上げ、理事長報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

2. 副理事長報告

副理事長 濱 健一

植野 泰幸

横山 奈津紀

横山 泰明



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、伊山理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。2023年度は4名の副理事長で構成され、理事長の掲げる「機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～」のスローガンの下、理事長所信に書かれた方向へ向かい、全メンバーが与えていただいた役職と役割を全う出来るよう副理事長として日々務めてまいりました。三役間で議論しJCI淡路としての意思統一を図り、理事長の掲げる方向性に相違なく事業が実施できるのかを考えました。そして、副理事長として委員長に寄り添う形で背景・目的に沿った事業構築に向かって時間を共にしてまいりました。また、我々がこれまで諸先輩方から教わった事やJC活動で経験し学び得た事を各委員会へ伝播させられるよう努めてまいりました。そして、今年度行ったどの事業も委員長が一生懸命に考え、時間をかけて構築してきた素晴らしいものであったと自負しております。我々が今年度、様々な機会をあたえられ、体感し、成長できた経験は、これからの中業や人生に活かしていくと感じております。そしてこの経験を様々な立場から次年度組織へ継承していくことをお約束すると共に、一年間共に歩んだメンバーの皆様に改めて感謝申し上げ報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 木戸 隆一郎



2023年度、専務理事という役職を拝命し、一年間全うすることができました。それも、伊山理事長をはじめ、理事会構成メンバーの皆さん、その下支えをして頂いたメンバーの皆様のおかげであると考えております。

専務理事の役割として、組織全体を見渡すべく広い視野と、様々なメンバーの想いをくみ取れる度量、円滑な組織運営が必要であったと思います。私自身がどこまで全うできたのかは自分では分かりませんが、仕事やプライベートではできない経験をさせて頂けたと感謝しております。そして、これまでとは違った視野のもとJC活動を行うことができ、改めて自らのJCに対する意識を高めることができました。

一年間の活動の中で、理事長、副理事長の皆様をはじめ、常にそばで支えていただいた公室長、実際の議案上程を行う委員長の皆様には多くのご迷惑をおかけしました。とりわけ坂本公室長をはじめ、理事長公室のメンバーには、予定者段階から、1月例会の100%出席達成など、最初から最後まで多大なご尽力を頂き感謝の念しかありません。専務理事という役職を通じて、私自身、素晴らしい絆と多くの経験を得ることができました。これらを来年度以降にしっかりとJCI淡路に対して恩返しすることが、私の責務だと思います。改めて、皆様への感謝を申し上げ、専務理事として報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

4. 諸 会 議 報 告

一般社団法人淡路青年会議所 第 20 回定時総会

2023 年 1 月 11 日 (水) 於 ホテルニューアワジ 凤凰の間
正会員 45 名 【出席 42 名 委任状 3 通】

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 第 1 号議案 | 定款変更に関する件 |
| 第 2 号議案 | 会費、入会金に関する事項の件 |
| 第 3 号議案 | 2022 年度事業報告承認に関する件 |
| 第 4 号議案 | 2022 年度正味財産増減決算報告承認に関する件 |
| 第 5 号議案 | 2023 年度事業計画並びに予算及び役割業務に関する件 |
| 第 6 号議案 | 2023 年度正味財産増減修正予算承認に関する件 |

一般社団法人淡路青年会議所 第 19 回臨時総会

2023 年 8 月 9 日 (水) 於 パシフィックオーバーシーズ
正会員 45 名 【出席 37 名 委任状 8 通】

- | | |
|---------|---------------------------|
| 第 1 号議案 | 2023 年度 事業計画予算変更に関する件 |
| 第 2 号議案 | 2023 年度 正味財産増減補正予算承認に関する件 |
| 第 3 号議案 | 2023 年度 監事退任に関する件 |
| 第 4 号議案 | 2024 年度 理事予定者承認に関する件 |
| 第 5 号議案 | 2024 年度 監事予定者承認に関する件 |

一般社団法人淡路青年会議所 第 21 回定時総会

2023 年 12 月 13 日 (水) 於 けひの海
正会員 51 名 【出席 18 名 委任状 33 通】

- | | |
|---------|--------------------------|
| 報告第 1 号 | 2023 年度 正味財産増減決算報告に関する件 |
| 第 1 号議案 | 2023 年度 預かり金処分に関する件 |
| 第 2 号議案 | 2024 年度 組織構成及び委員会構成に関する件 |
| 第 3 号議案 | 2024 年度 出向者に関する件 |
| 第 4 号議案 | 2024 年度 正味財産増減予算に関する件 |
| 第 5 号議案 | 2024 年度 事業計画に関する件 |
| 第 6 号議案 | 2024 年度 例会・総会日時に関する件 |
| 第 7 号議案 | 2024 年度 預り金に関する件 |

理事会報告

年月日	内 容	場 所
2023.1.6	<p>1月理事会</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 理事長・副理事長及び専務理事選任の件 (2) 新入会員承認の件 (3) 新入会員配属の件 (4) 定款変更の件 (5) 会費、入会金に関する事項の件 (6) 2022年度事業報告の件 (7) 2022年度正味財産増減決算報告の件 (8) 事業計画並びに予算及び役割業務の件 (9) 2023年度正味財産増減修正予算の件 (10) 2023年度会費納入の件 (11) 会員名簿作成の件 (12) 総合資料作成の件 (13) 広報誌発行の件 (14) 拡大パンフレット作成の件 (15) 1月例会の件 (16) 第20回定期総会議案の件 (17) 第20回定期総会設営の件 (18) 新年会の件 (19) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2月例会の件【2/2】 (2) 3月例会の件【1/2】 (3) わんぱく相撲淡路場所【1/2】 (4) その他 <p>討議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 持続社会開発事業の件 	淡路青年会議所 事務局
2022.2.1	<p>2月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) OB会費・特別会費納入の件 (2) 広報誌発行の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 新入会員会費納入の件 (4) 運営規定変更の件 (5) 2月例会の件 (6) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 3月例会の件【2/2】 (2) 第28回わんぱく相撲淡路場所の件【1/2】 (3) 4月例会の件【1/2】 (4) 持続社会開発事業件【1/3】 (5) その他 	淡路青年会議所 事務局

2023.3.1	<p>3月理事会</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2023年度例会開催日程変更の件 (2) 1月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 第20回定期総会の設営事業報告の件 (4) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (5) 総合資料作成事業報告並びに決算報告の件 (6) 3月例会の件 (7) 4月例会の件【一部審議】 (8) 第28回わんぱく相撲淡路場所の件【一部審議】 (9) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 5月例会の件【1/2】 (2) 持続社会開発事業の件【2/3】 (3) その他 	淡路青年会議所事務局
2023.4.5	<p>4月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙管理委員会設置の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 会員名簿作成事業報告並びに決算報告の件 (3) 2月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 4月例会の件 (5) 第28回わんぱく相撲淡路場所の件 (6) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 5月例会の件【協議2】 (2) 持続社会開発事業の件【協議2】 (3) 6月例会の件【協議1】 (4) その他 	淡路青年会議所事務局
2023.5.2	<p>5月理事会</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 3月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 5月例会の件 (4) 選挙管理委員会設置の件 (5) 社会開発事業の件【一部審議】 (6) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月例会の件【協議2】 (2) 7月例会の件【協議1】 (3) その他 	淡路青年会議所事務局

2023.6.7	<p>6月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 広報誌発行の件 (2) 第19回臨時総会設営の件 (3) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 退会に関する件 (2) 役員選任に関する規定の変更の件 (3) 4月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 第28回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (5) 6月例会の件 (6) 社会開発事業の件 (7) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 7月例会の件【協議2】 (2) 8月例会の件【協議1】 (3) その他の件 	淡路青年会議所事務局
2023.7.4	<p>7月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 持続社会開発事業の件 (2) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 新入会員承認の件 (3) 新入会員配属の件 (4) 2023年度後期会費納入の件 (5) 5月例会事業報告並びに決算報告の件 (6) 7月例会の件 (7) 2023年度 事業計画予算変更に関する件 (8) 2023年度 正味財産増減補正予算に関する件 (9) 2023年度 監事退任に関する件 (10) 2024年度 理事予定者承認に関する件 (11) 2024年度 監事予定者承認に関する件 (12) 第19回臨時総会設営の件 (13) 第19回臨時総会提出議案の件 (14) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 8月例会の件 (2) 9月例会の件 (3) その他 	淡路青年会議所事務局

2023.8.2	<p>8月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 6月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 8月例会の件 (4) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 9月例会の件 【協議 2】 (2) 10月例会の件 【協議 1】 (3) その他 	淡路青年会議所 事務局
2023.9.6	<p>9月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 広報誌発行の件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2023年度例会開催日程変更の件 (2) 7月例会報告並びに決算報告の件 (3) 9月例会の件 (4) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月例会の件 【協議 2】 (2) 11月例会の件 【協議 1】 (3) その他 	淡路青年会議所 事務局
2023.10.4	<p>10月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第21回通常総会の件 (2) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 新入会員承認の件 (3) 新入会員配属の件 (4) 社会開発事業 事業報告並びに決算報告の件 (5) 8月例会事業 報告並びに決算報告の件 (6) 第19回臨時総会 事業報告並びに決算報告の件 (7) 2023年度例会会場変更の件 (8) 10月例会の件 (9) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 11月例会の件 【協議 2】 (2) 12月例会の件 【協議 1】 (3) その他 	淡路青年会議所 事務局

2023.11.1	<p>11月理事会</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 例会日時変更の件 (2) 新入会員承認の件 (3) 新入会員配属の件 (4) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 9月例会事業報告並びに決算報告の件 (6) 11月例会の件 (7) 2023年度預り金処分の件 (8) 2023年度正味財産増減決算の件 (9) 2024年度組織及び委員会構成の件 (10) 2024年度出向者の件 (11) 2024年度事業計画の件 (12) 2024年度正味財産増減予算の件 (13) 2024年度例会・総会日時の件 (14) 2024年度預かり金の件 (15) 第21回定期総会提出議案の件 (16) 第21回定期総会設営の件 (17) 12月例会の件【一部審議】 (18) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) その他 	淡路青年会議所 事務局
2023.12.6	<p>12月理事会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 広報誌発行の件 (2) 褒章委員会設置の件 (3) その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 11月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 12月例会の件 (4) その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) その他 	淡路青年会議所 事務局
2024.1.5	<p>第13回理事会</p> <p>審議事項</p>	淡路青年会議所 事務局

5. 委員会事業報告

理事長公室 公室長 坂本 敏行



担当	木戸 隆一郎	公室長	坂本 敏行	副委員長	原 亜里沙
委員	堀部 泰博	前川 栄亮			

総括報告

総括おこなうに当たり、まず初めにメンバーの皆様に1年間ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。理事長公室としては、1年を通じて理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐を中心に、理事会・三役会の設営、また1月例会及び6月例会の設営を担当させて頂きました。少人数のメンバーで、なかなか委員会開催を行うことができませんでしたが、原副公室長をはじめとする委員会メンバーには、大変尽力頂いたおかげで1年間の活動を行うことができました。委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。理事長公室の職務をお預かりして、多くの経験と学びを得ることができました。1月例会では、1年のスタートを切る重要な例会の担当をさせて頂き、オンライン併用ではありましたが、100%例会を達成することができました。理事長の1年に対する想いを、メンバー全員で共有することができたのも、全てのメンバーの協力があってこそだと思います。改めてメンバーの皆様には感謝申し上げます。また、6月の選挙例会では、次年度の体制を考える重要な場面を設営して、多くの気づきを得ることが出来ました。厳格かつ公平な取り決めの元、メンバー全員が淡路青年会議所の未来を想像しながら投票を行い、次年度体制を決める選考委員を無事に選出することができました。最後になりましたが伊山理事長、木戸専務、原副公室長をはじめとする理事長公室メンバーの皆様、また長年にわたり淡路青年会議所活動を支えてくださっている山下事務員、一年間理事長公室にご協力いただきありがとうございました。以上で活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2022.11.2	事務局	1月例会,手帳作成の件	4名
2023.1.4	事務局	1月例会、第20回定期総会、会員名簿作成、総合資料作成の件	2名
5.23	事務局	6月例会の件	2名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023.1.11 6.14	ホテルニューアワジ SBRICK	1月例会 志～挑戦の一歩を刻め～ 6月例会 選す～輝く未来のために～	45名 36名

持続社会開発委員会 委員長 高田 祥平



担当	植野 泰幸	委員長	高田 祥平	副委員長	天羽 一真
委員	網島 幸治、太田 康文、立田 淳子、津田 和典、南部 真希也				

総括報告

今年度、持続社会開発委員会では、4月例会と持続社会開発事業の2つのお役目を頂きました。予定者段階より、今年度のテーマである「デジタル」というキーワードのもと、「明るい豊かな淡路島」の実現に向け調査研究を行う中で、日本における自治体DXの第一人者である菅原直敏様、そしてデジタル庁参与と構想日本総括ディレクターの伊藤伸様に出会い、熱意をもってアプローチを掛けたところ、デジタル大臣として活躍されている河野太郎様を含めた講演依頼を快諾して頂くことができました。お打ち合わせを重ね、淡路島の過去と現状と未来を共有させて頂く中で、類を見ない「島」という独特な文化を持つ淡路島の可能性を痛烈に感じさせていただき、淡路島の自治体DXに関する講演を、是非とも、淡路島の自治体の担当職員の方々と共に受講し、愛すべき淡路島の未来を官民一体となって共有する機会を提供したいと思うようになり、委員会メンバーと共に準備を進めてまいりました。4月例会では、菅原様の実に痛快で腑に落ちる自治体「d X」のご講演と、持続社会開発事業では、河野様と伊藤様より、日本が国をあげて取り組んでおられるデジタルトランスフォーメーションを切り口とした、新時代の国と地方の在り方についてのご講演を頂きました。国の最前線で奮闘しておられる講師の方々のご講演は、実にタイムリーな話題から未来に希望を持てるような明るい話題まで、淡路島に関わる人々の心にしっかりと届いたと感じております。また、持続社会開発事業では、第二部として淡路島の三市の市長にもご登壇頂き、「愛すべき淡路島の未来」についてのパネルディスカッションを行い、それぞれの現状と課題、そして未来への希望について、国と地方の垣根を越えた議論を実現する事が出来ました。2つの事業を通して、淡路青年会議所が架け橋となり、愛すべき淡路島の未来について、島民全員で、官民一体となって考え、まずは広域的に三市が手を取り合って行政DXに取り組み、そしてその先の「淡路島一市」に向けて、確実に大きな一歩になったと確信しております。

このような機会を提供でき、淡路島の未来を官民一体となって共有できたのも、委員長としてのお役目を頂きました伊山理事長を始め、常に寄り添って頂いた植野担当副理事長、きっかけを作っていただきお支え頂いた木戸専務理事、直前理事長と監事を含む理事会構成メンバー、そして委員会メンバーを始め、リハーサルや当日に至るまでご参加ご協力いただきました正会員、準会員、また、ご支援いただいた特別会員の皆様のお陰でございます。私自身、最終年度に社会開発事業の委員長を仰せつかり、予定者段階より構想を練り、度重なる障壁があったにも関わらず、初志貫徹し、青年会議所にしかできない事を体現し実現させるという体験をさせていただきました。淡路青年会議所の長い歴史の中に委員長として加わられたことを大変誇りに思います。そして、ムービー作成にご協力いただいた皆様、洲本市文化体育館の担当職員様、ご参加いただいた行政職員の皆さま、事業前日の懇談会を含め対応して頂いたホテルニューアワジの中山様、最後に、講演依頼を快諾して頂いた菅原様と綿密なお打ち合わせと当日にも同行して頂いた秘書の河村様、ご多忙の中ご来島頂いた河野様、前日の視察を含め綿密なお打ち合わせにご協力いただき、講演に加えてパネルディスカッションのコーディネーターまで引き受け下さった伊藤様、そして当委員会の事業に携わって頂いた全ての淡路島を愛する方々に心よりの感謝を申し上げ、総括報告とさせて頂きます。本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2021. 9.21	焼肉犇心	持続社会開発事業の件	4名
10.14	ZOOM	持続社会開発事業の件	6名
10.21	ZOOM	持続社会開発事業の件	6名
12.26	ZOOM	持続社会開発事業の件	5名
2022. 1.16	ZOOM	持続社会開発事業の件	
1.17	ZOOM	持続社会開発事業の件	6名
1.25	事務局・ZOOM	4月例会の件、持続社会開発事業の件	6名
3.29	事務局・ZOOM	4月例会の件	4名
6.22	事務局	持続社会開発事業の件	5名
6.24	事務局	持続社会開発事業の件	5名
6.28	事務局	持続社会開発事業の件	5名
6.29	事務局	持続社会開発事業の件	5名
7. 4	ZOOM	持続社会開発事業の件	4名
7. 7	洲本文化体育館	持続社会開発事業の件	5名
			6名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2022.4.12	洲本文化体育館	4月例会 新時代意識改革講座	56名
7. 9	洲本文化体育館	持続社会開発事業 愛すべき淡路島の未来 ～新時代を捉え淡路島をひとつに～	405名

次世代育成委員会 委員長 戸田 敦大



担当	濱 健一	委員長	戸田 敦大	副委員長	江本 曜宣
委員	岸本 有宏、宮本 将史、林 祐司、織田 享祐				

総括報告

まず、メンバーの皆様におかれましては1年間ご指導いただき、また次世代育成委員会の活動にご協力いただきましたこと御礼申し上げます。

当委員会は淡路島の次世代を担う子どもたちの育成と、一般社団法人淡路青年会議所の次世代を担うメンバーの育成という2つの担いがございました。前者における担いでは4月23日に淡路市立石屋小学校土俵場にて第28回わんぱく相撲淡路場所を開催させていただきました。日本の伝統である相撲を通じて、子どもたちに勇気をもって一歩踏み出そうとする「強い心」や、敗者への「いたわりの心」、やり抜く「忍耐力」を養い、子どもたちの成長につなげることを目的とし、大会当日は淡路島内全域から61名のわんぱく力士に参加いただき淡路島の子どもたちの成長の一助になることができたと考えます。

例会においては2月と10月を担当し、JCI淡路の次世代を担うメンバーの成長に繋がる機会の創出に努めました。2月例会では「切磋琢磨～LOM役員懇談会～」のタイトルのもと、道廣正明会長をはじめとします公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会と共に、例会においてLOM役員懇談会を開催いたしました。また、10月例会では「certiore～伝えることで動き出す～」をタイトルにアニバーサリーボイス代表の東大吾氏を講師にお招きし、メンバーの伝える力を養うことを目的にプレゼンテーション能力を向上させる講演を行なっていただきました。この2つの例会を通してメンバーの成長に繋がる機会の創出に繋げることができたと考えます。

最後になりましたが伊山理事長、濱副理事長には多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。また、江本副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様、一年間委員会一丸となり事業、例会に協力いただいたことに感謝申し上げ当委員会の総括報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023.1.16	事務局	2月例会、第28回わんぱく相撲淡路場所の件	6名
1.30	事務局	2月例会の件	
2.2	事務局	2月例会の件	5名
2.6	事務局	2月例会の件	4名
3.16	事務局	第28回わんぱく相撲淡路場所の件	4名
4.4	事務局	第28回わんぱく相撲淡路場所の件	7名
4.17	事務局	第28回わんぱく相撲淡路場所の件	4名
6.20	しらさぎの宿 まるふく	第28回わんぱく相撲淡路場所決算報告、 10月例会の件	4名 7名
7.27	事務局	10月例会の件	5名
8.22	事務局	10月例会の件	4名
9.7	餃子酒房丈夫	10月例会の件	5名
9.27	事務局	10月例会の件	4名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023.2.8	淡路島 夢海遊	2月例会	34名
4.23	淡路市立石屋小学校	第28回わんぱく相撲淡路場所	24名
10.11	淡路市立津名ふれあいセンター	10月例会	37名

人財づくり委員会 委員長 小川 優一



担当	横山 奈津紀	委員長	小川 優一	副委員長	中山 貴子
委員	岡本 和也、田中 昭仁、富永 浩司、藤野 雅大、山本 賢				

総括報告

まず初めに、メンバーの皆様におかれましては一年間ご指導いただき、また拡大活動にご協力いただき誠にありがとうございました。人財づくり委員会は一年を通しての拡大活動、3回の例会設営及び入会パンフレット作製を担当させていただきました。拡大活動においては、本年度におきましては9名の同志が入会して頂く運びとなりました。候補者の方々とできる限り面談をさせて頂き実りのある時間を過ごさせて頂きました。また、多くのメンバーのご協力とご指導を頂きながら、最後まで委員会活動を行うことができ、感謝の思いでいっぱいです。もちろん、やれた事やれなかった事、悔やまれる事や反省点など多々ありますが、この経験を今後の糧として活かしていけたらと思います。

例会設営では、3月5月9月と3回のお役目を頂きました。当初、ホップ・ステップ・ジャンプと3つのテーマを設け準備を行ってまいりました。3月例会ではシニアクラブより上田先輩をお招きし、拡大活動の大切さや拡大意識の向上をテーマにご講演して頂きました。そして5月例会ではeスポーツ「HADO」を通じてメンバー同士の交流や次世代を担っていく人財の紹介を深めることを目的に例会を設営させて頂きました。9月例会に関しては、SRCグループ兵庫エフエム放送株式会社の横山様をお招きし、組織としての理念や意義の重要性を学ぶ為の例会設営を行いました。分からぬ事が分からぬという状況の中、担当副理事長と委員会メンバーに助けられ、無事成し遂げることが出来ました。多くのメンバーにご協力いただきながら、回を重ねるごとに、自身の成長と委員会の結束が高まっていくという経験をさせていただきました。

想いを伝えることの大切さと難しさ、ひとりでは何もできないという事を痛感し、仲間への感謝と、お役目を頂けたことに大変感謝しております。

最後になりましたが伊山理事長、横山副理事長を始めとする三役メンバーには多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。また、中山副委員長をはじめとする人財づくり委員会メン

バーの皆様にも、一年間委員会を盛り立てて頂きました。そして、共に闘った同期委員長の皆様、また全てのメンバーに感謝を申し上げ、総括報告とさせていただきます。ありがとうございました。

最後になりましたが、横山副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました坂本公室長をはじめとする委員会メンバーの皆様には最後の最後まで支えていただきました。改めて心より感謝を申し上げ、総括報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者
2023.1.16	事務局	3月例会の件	3名
2.24	事務局	3月例会の件,3月例会のスケジュール確認	4名
3.6	事務局	3月例会の件,3月例会のスケジュール確認	4名
3.18	事務局	3月例会の件	2名
4.12	事務局	3月例会の件,5月例会の件	3名
4.20	事務局	5月例会のスケジュール確認	3名
5.8	事務局	5月例会の件	4名
6.23	事務局	5月例会の件,9月例会の件	5名
6.29	事務局	9月例会の件,9月例会のスケジュール確認	3名
7.13	事務局	9月例会の件	4名
7.26	事務局	9月例会の件	2名
9.1	事務局	9月例会の件	3名
9.8	事務局	9月例会の件	5名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023.3.8	洲本文化体育館	3月例会～魅力あるLOMへの道しるべ～	37名
5.10	S BRICK	5月例会～次代と共に創る絆～	32名
9.13	洲本文化体育館	9月例会～次なるステージへ STEP UP～	35名

魅力発信委員会 委員長 三澤 大祐



担当	濱 健一	委員長	三澤 大祐	副委員長	松本 和幸
委員	赤澤 慎一、谷口 優、若林 晋一郎、中村 芽生、百合 修一				

総括報告

まず初めに、委員会メンバーの皆様一年間ご指導いただき、誠にありがとうございました。

魅力発信委員会は一年を通じて JCI 淡路の各事業、活動を発信してまいりました。各々の事業や活動に際しての写真撮影や動画撮影を通じてメンバーそれぞれが成長していく様を身近で見られたと感じました。1事業を終える毎に少しづつ成長していく1年だったと自覚しています。「7月例会 Intelligence～大切な情報を守る為に～」では講師に神野氏をお招きし情報の大切さそして、守り方についての講演をいただきました。各々の社業に持ち帰ってまた、家庭に持ち帰って共有したいという意見をいただけましたこと心より感謝申し上げます。「11月例会 笑顔満祭～笑う門には福来る～」では本年度卒業されます10名の先輩に JC の活動の思い出や来年以降も現役で残るメンバーへ向けてのスピーチを頂きました。設営に際して設えをどんな風にしたら卒業される先輩方が喋りやすいかまたは、記念品として何を残してあげたらいいのだろうかと悩ませていただきました。委員会メンバーそして、担当副理事長合わせて3名が卒業生ということも有り3名には伏せての委員会で意見をいただきそして案をいただき最終良い形の設営そして記念品をお渡し出来た事、誠にありがとうございました。

最後になりましたが伊山理事長、濱副理事長には多くのご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございました。また松本副委員長をはじめとする魅力発信委員会メンバーの皆様、1年間ご協力ありがとうございました。改めまして、今年度関わりました皆さんに感謝申し上げまして委員長報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2022.9.20	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4名
10.1	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4名
10.27	事務局	委員長抱負、ホームページの件、広報誌の件	3名
11.17	事務局	委員長抱負、ホームページの件、広報誌の件	3名
11.19	事務局	ホームページの件、広報誌の件	3名
12.15	事務局	広報誌の件	4名
12.31	事務局	ホームページ更新の件	3名
2023.1.6	事務局	2月広報誌の件	3名
1.19	事務局	2月LOM 役員懇談会質問について、2月広報誌の件	4名
1.30	事務局	2月LOM 役員懇談会質問について、2月広報誌の件	2名
2.2	事務局	2月LOM 役員懇談会質問について、2月広報誌の件	4名
2.6	事務局	2月LOM 役員懇談会質問について	5名
4.19	事務局	6月広報誌の件、7月例会の件	5名
4.27	Salon de May	6月広報誌の件、7月例会の件	3名
5.11	Salon de May	7月例会の件	4名
5.15	事務局	7月例会の件	2名
5.19	事務局	7月例会の件	3名
6.5	事務局	7月例会の件	2名
6.12	Salon de May	7月例会の件、6月広報誌の件	3名
7.11	事務局	7月例会の件	4名
8.21	事務局	7月例会決算の件	2名
8.22	事務局	11月例会の件	3名
8.31	Salon de May	11月例会の件、	3名
9.22	事務局	11月例会の件	2名
9.28	Salon de May	11月例会の件	3名
10.20	夢海游	11月例会の件 (会場打合せ)	3名
11.7	夢海游 (まほろば)	11月例会の件 (リハーサル)	4名
11.17	事務局	11月例会決算の件、12月広報誌の件	3名
12.18	たへゑ	ホームページ・広報誌決算の件	5名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
通年	各所	SNS・ホームページの更新	
2023.2.8	各所	広報誌発行	
6.14		広報誌発行	
9.13		広報誌発行	
12.13		広報誌発行	
7.12	洲本市文化体育館	7月例会 Intelligence～大切な情報を守るために～	32名
11.8	夢海游	11月例会 笑顔満祭～笑う門には福来る～	40名

交流推進委員会 委員長 伊東 明信



担当	横山 泰明	委員長	伊東 明信	副委員長	林 征宏
委員	植田 峻正、樺野 芳博、田尾 吏、松田 恒久、吉田 光佑				

総括報告

まず初めに、2023年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として交流推進委員会委員長の役をいただきました伊山理事長に心からお礼を申し上げます。

2023年度の新年会を担当する委員会として精一杯邁進してきました。予定者の段階から様々な議論を重ね、交流推進の難しさを痛感致しました。しかしながら、新年会ではメンバー皆様のご協力のおかげで無事に理事長の華々しいお披露目へと繋げることができ、メンバー一丸となり最大限のおもてなし精神をもって、参加された皆様に感謝の気持ちをお伝え出来たと実感しております。私自身新年会を担当し、改めて事業背景、目的から事業実施への組み立ての難しさを感じ、共に委員会内でのイメージの構築、確認の重要性、そして何より協力していただいた委員会メンバーの大切さを感じることができました。また、8月例会では会員同士での活発な交流、組織の活力向上を図りたい想いから、BBQ例会の開催を実施致しました。天候に左右される屋外会場に不安があったものの、委員会メンバーとの共有、綿密な委員会活動により、メンバー共通の話題を持つことで少しでもメンバー同士の交流に繋げ、BBQ例会では繋がりを深める機会を創る役割を全う出来たと体感しております。12月例会では、JCI淡路の活動を日頃からご理解いただいている、メンバーご家族に向けた例会を開催させていただきました。例会当日の当委員会では、会場設営に苦労いたしました。インフルエンザなど流行している中、前日、又は当日の体調確認での急遽欠席変更があり、対応の追われ設営の難しさを改めて痛感致しました。しかしながら、例会運営中においては、喜びと笑顔溢れるお子様たちや、ご家族の喜ばれる姿を拝見し、私自身では感謝の気持ちをお伝えする場にできたと感じております。

最後になりましたが、横山副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました林副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様には最後の最後までお支えいただきました。改めて感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2022.11.15	kampai	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務	6名
12.21	丸中	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、新年会の件、	4名
2023.1.10	Kampai	新年会議案書精査、新年会オープニングフローの精査、新年会事業予算の精査	4名
1.10	ニューアワジ	新年会会場の確認、オープニングフローの確認 新年会議案書精査、	4名
6.6	パシフィック	8月例会の件	5名
7.25	Kampai	8月例会の件	7名
12.11	事務局	12月例会の件	5名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2023.1.15	夢泉景	新年会	来賓34名 特別34名 現役30名
6.20	福岡カンツリー倶楽部	ゴルフ旅行 福岡 LOM ナイト	特別20名
6.21	芥屋ゴルフ倶楽部	ゴルフ旅行	現役13名
8.9	パシフィックオーバー シーズ	8月例会	38名
11.23	卒業ゴルフ	六甲国際ゴルフ倶楽部 三ノ宮 LOM ナイト	特別21名 現役24名
12.13	けひの海	12月例会	38名

6. 委員会別事業決算明細

2023年度 委員会別事業決算予算明細

7. 直前理事長報告

直前理事長 川越 勇輔



2023年度 第61代理事長として1年間、一般社団法人淡路青年会議所の先頭に立ち、激変する時代の中でここ淡路島にJC運動をさらに広め、JC活動の意義と目的をメンバーに示し続けた伊山真司理事長に心からの賛辞と敬意を表します。

また、伊山理事長を支え、スローガンである「機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～」の基、様々な活動を行い、運動を展開したメンバーの皆様、本当にありがとうございました。直前理事長の立場として、心から感謝申し上げます。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が叫ばれて久しい昨今、時のデジタル大臣である河野太郎氏をお招きしフォーラムを開催することができました。伊山理事長の想い描く形が最大限具現化された瞬間であったと思います。DXの必要性のみならず、JCI淡路の基本理念である「淡路はひとつ」の必要性を上手く訴えた事業となりました。その他の事業においても、コロナ禍を経て再開した事業や通常開催となった事業などが数多くありました。社会的に様々なことが可能になる中でも配慮を忘れず、最大限の挑戦をし続けた執行部の皆様、委員長各位の苦労は計り知れないものがあったと思います。メンバーの皆様には2023年度経験したことを多くの場面で活かし、JC活動においてはどんなことも壁と思わず、信じた道を突き進んで頂きたいと思います。

私自身「直前理事長は理事長の最大のサポート」であるべきだと思います。自分自身の想いやこれまでの経験から判断するのではなく、伊山理事長の想いを理解し、執行部、担当委員長などの想いを汲み上げることに加えて社会情勢なども含めて判断材料とし、俯瞰的に物事を見ていくことを目標に2023年を過ごしました。どれだけ出来たかは分かりませんが監事職を兼務する中で私なりに葛藤した1年でありました。短く端的に想いを伝えるのは難しいものです。

2024年度はさらに力強く、華麗に「明るい豊かな淡路島」に向かっていくと思います。未来に想いを馳せ、すべてに感謝し直前理事長報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。メンバーの皆様、お疲れ様でした。

8. 出 向 者 報 告

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会

監査担当役員 三浦 義崇



今年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会監査担当役員として出向させていただきました。今回の出向に関しては、これまでの経験を兵庫ブロック内のメンバーへ伝え、LOM へその経験を還元できるように努めてまいりました。2016年度以来の役員出向であり、多くの刺激をいただきながら、最終年度の JC 活動を過ごすことができました。これからも三信条にある友情の部分をより意識していただき、JCI 淡路からより多くの役員出向者がいることを期待します。最後になりましたが、出向の許可をいただいた伊山理事長、そして兵庫ブロックの活動に参加いただいたメンバーに感謝いたします。一年間ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022.9.26	パレット川西	役員候補者会議
10.2	猪名川町立社会福祉会館	第1回理事長予定者会議
10.12	ZOOM	第1回正副会長予定者会議
10.19	西宮勤労会館	第1回役員予定者会議
10.30	猪名川町立社会福祉会館	第2回臨時役員予定者会議
10.30	猪名川町立社会福祉会館	第2回理事長予定者会議
11.15	川西市商工会館	第2回予定者会議
11.23	神戸ポートピアホテル	第3回理事長予定者会議
12.12	三宮コンベクションセンター	第3回役員予定者会議
2023.1.27	西宮商工会館	第1回役員会議
2.4	神戸ポートピアホテル	第1回会員会議所会議
2.8	夢海游淡路島	LOM 役員懇談会
2.19	柏原住民センター	LOM 役員懇談会
2.24	尼崎市中小企業センター	第2回役員会議
3.11	しあわせの村	第1回アカデミー事業
3.15	明石商工会議所	第3回役員会議
3.26	神戸ネスタリゾート	第2回会員会議所会議

年月日	場所	内容
4.8	伊丹商工プラザ	LOM 役員懇談会
4.16	国民宿舎志んぐ荘	LOM 役員懇談会
4.18	神戸市産業振興センター	第4回役員会議
4.30	神戸ポートピアホテル	LOM 役員懇談会
5.21	じばさん TAJIMA	第2回推進会議
6.19	ユーハイ帆っとセンター	第6回役員会議
6.25	ユニトピアささやま	第1回臨時役員会議
6.25	ユニトピアささやま	第4回会員会議所会議
7.17	姫路城 三の丸	近畿地区大会姫路大会
7.29	伊丹商工プラザ	第5回会員会議所会議
8.20	東りいみホール	ブロック大会伊丹大会
9.7	兵庫県公館	兵庫県知事との懇談会
9.19	神戸市男女共同センター	ブランディングに関するシンポジウム
10.20	猪名川町社会福祉会館	第9回役員会議
10.28	じばさん TAJIMA	第6回会員会議所会議
11.23	神戸ポートピアホテル	第7回会員会議諸会議
12.18	NOMIENA	第11回役員会議

益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会
三浦監査担当役員セクレタリー 堀部 泰博



本年度、三浦監査担当役員セクレタリーとして務めさせていただきました。三浦監査を兵庫ブロックの諸会議・事業へ送迎することが主な仕事でした。道中の安全に気をつけ、三浦監査が快適に過ごしていただけるよう心がけました。会議に参加させていただいた時には、三浦監査を始め他のブロック役員の皆さまのご意見を拝聴し、自分にはなかった視点のご意見もあり、大変勉強になりました。この1年で得た経験をLOMでも生かしていきたいと思います。このような機会をいただきました伊山理事長には感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2022.11.23	神戸ポートピアホテル	第3回理事長予定者会議
2023.02.24	尼崎中小企業センター	第2回役員会議
04.30	神戸ポートピアホテル	LOM 役員懇談会
08.20	伊丹市内各所	第56回ブロック大会 伊丹大会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会
三浦監査担当役員セクレタリー 榎野 芳博



2023年度、三浦監査担当役員セクレタリーとして兵庫ブロックへ出向し、LOM役員懇談会や会員会議所等、様々な地域へ三浦監査担当役員にご一緒させていただきました。オブザーバーとして参加した会議や、訪れた地域が抱える問題に対し、青年会議所としてどう向き合うのか、何ができるのか等の意見交換を通し、出向していなければ得られなかった経験や多くの学びがありました。ブロック役員や、各地青年会議所の方々と関りを持つこともでき、このような機会を与えてくださったこと、深く感謝しております。本当にありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2022.10.30	猪名川町立福祉社会館	第二回 理事長予定者会議
2023.1.21	京都東急ホテル	京都会議
2023.2.4	神戸ポートピアホテル	2023年度 合同委員長会議
2023.2.19	柏原住民センター	LOM役員懇談会
2023.3.26	ホテルザ・パヴオーネ	第二回会員会議所会議
2023.6.10	香住区中央公民館	JCI香住周年
2023.6.25	ユニトピアささやま	第4回会員会議所会議
2023.11.23	神戸ポートピアホテル	第7回会員会議所会議

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JCI日本連携推進会議 議員 中山 貴子



本年度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 JCI 日本連携推進会議へ委員として出向させて頂きました。JCI 日本連携推進会議では、食に関する委員会で、商品をオンラインクラウドファンディングである makuake に商品を販売することになりました。makuake を通じて商品を販売することでより多くの人々に商品を知つてもらうことを目指しました。makuake に出店するためには、効果的なマーケティング戦略を構築する必要があり、特徴やユーザーの傾向を分析し、メンバーと一緒に試食会、makuake に携わっている方にプレゼンをさせて頂き、無事 makuake へ出店が成功できました。JCI 日本連携推進会議へ出向させていただき、非常に有意義な経験や自分自身の成長や JCI 活動への参加意欲を高める素晴らしい機会でした。メンバーの皆さんありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022.11.2 3	神戸ポートピアホテル 大蔵海岸 BBQ ZAZAZA	第 1 回 JCI 日本連携推進会議 試食会
2023.6.15	東リいたみホール	ブロック大会 HYOGO business community sumnit2023
2023.8.20	しらさぎの宿丸福	第 11 回 JCI 日本連携推進会議
2023.10.2 5		

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会
兵庫の未来創造委員会 委員 若林 晋一郎



2023年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造委員会へ出向させていただきました。主な役割として、JCカップの設営、兵庫県知事との懇談会の設営を担わせていただき、委員長の元、この2つの事業に参加させていただきました。

その中でも兵庫県下各地区の小学生を対象としたJCカップでは、サッカーを通じて子どもたちが地域に夢と希望をもたらす人材へと成長し、本大会において地域間の交流を行うことを目的に開催されました。また各地域の子どもたちやその家族、メンバーが集まることで、その魅力を広く発信し、自立自活した地域を創造すると共に、次代を担う子どもたちがグッドルーザーの精神を育む機会を創出しました。子どもたちにこのような体験の場を与えることができたのは、私にとって良い経験となりました。また子どもたちにはこの経験を活かして欲しいと切に願うと同時に、これから活動に活かしていきたいと思います。最後になりましたが、1年間出向させていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内 容	
2022.12.20	WEB	第1回委員会	打ち合わせ
2023.1.30	WEB	第2回委員会	打ち合わせ
2.4	WEB	第3回委員会	打ち合わせ
3.4	WEB	第4回委員会	打ち合わせ
4.22	WEB	第5回委員会	打ち合わせ
5.26	WEB	第6回委員会	打ち合わせ
7.7	WEB	第7回委員会	打ち合わせ
8.7	WEB	第8回委員会	打ち合わせ

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会 委員 林 征宏



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただきました。あまり出席はできませんでしたが、兵庫アカデミー委員会に参加しいつもと違った刺激を受けることが出来ました。兵庫アカデミー委員会メンバーと学んだこと、また遊びを通じて成長できた事を来年度の自LOMに活かして2024年度に向けて自分自身も躍動できる一年にしたく思います。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022.11.2 3	ポートピアホテル	アカデミー委員会活動内容説明、年間スケジュールの件

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会 委員 江本 晓宣



この度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会の兵庫アカデミー委員会の委員として出向する機会を頂きました。

他地区のLOMのメンバーの皆様と活動を共にすることで、地域を超えた交流と学びの機会を与えて頂きました。すべての会に参加できたわけではないですが、環境や地域の違うメンバーをまとめる赤松委員長はじめ、アカデミー委員会メンバーの皆様の熱意や心遣いには感嘆すると共に、自身の今後のJC活動への姿勢や考え方、想いを再認識する貴重な機会となりました。

伊山理事長をはじめ、このような貴重な機会を与えて頂いたJC淡路の皆様に感謝するとともに、アカデミーで得た経験や気づきを「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて歩んでいけるよう日々精進していきます。

ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2023.1.7	ZOOM	第2回アカデミー委員会
2023.3.11	神戸しあわせの村	第1回アカデミー事業
2023.8.5	兵庫県立武道館(姫路市)	第2回アカデミー事業
2023.10.1 4	いなみ野体育センター(加古郡)	第7回アカデミー委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
プランディング委員会 委員 松本 和幸



本年度近畿地区兵庫ブロック協議会プランディング戦略委員会に出向させていただきました。1年間過ぎ最初の頃は初めてお会いする方が多くて右も左も分からぬ状態でしたがメンバーの皆様に温かく、交流しながら活動ができたと思います。

今年の目標はSNSを通じて兵庫の各地域の事を取り上げ、どれほど関心を抱くのか検証致しました。興味深い事には検索数が増えますがやはり興味がない事では少ない状態でした。発信する側からの工夫で増えるというのも改善の一つだとわかりました。

また検証報告としまして10月にシンポジウムを開催し、次年度予定者の方も参加してもらい参考にしていただけたと思います。

最後になりますがプランディング戦略委員会で得た経験を自分の成長と出会いに繋がりました!このような機会を与えていただいたことに心から感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

出向記録

年月日	場所	内容
2022.12.2	Zoom	第1回プランディング戦略委員会
2	Zoom	第2回プランディング戦略委員会
2023.1.20	神戸ポートピアホテル	第3回プランディング戦略委員会
2.4	三田市まちづくり協働センター	第6回プランディング戦略委員会
5.3		兵庫ブロック大会
8.20	東リいいたみホール	第11回プランディング戦略委員会
9.19	ウェルネスパーク五色	プランディング戦略委員会シンポジウム打合せ
10.18	Zoom	プランディング戦略委員会シンポジウム
10.22	神戸市あすてっぷ	

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会委員会 委員 津田 和典



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。一般社団法人神戸青年会議所より出向の買手委員長のもと、過去最大のブロック大会を目指し、伊丹市にある伊丹小学校及び東リいたみホール、三軒寺前広場を使用し、各 LOM より兵庫各地の名産や文化、スポーツを集めたブース、各企業による職業体験、またステージイベントなど盛りだくさんの内容で第 56 回兵庫ブロック大会伊丹大会を開催致しました。私はステージ担当として役割を与えられ、設営や運営手法について多くのことを学びことができ、また委員会を通じて取り組んでいく中で、他 LOM の方と交流を深めることができ、多くの友人を作ることができました。大会当日は多くの方々に来ていただき、JCI 淡路としても玉ねぎの袋詰め体験のブースを出展し、多くのメンバーにご参加、ご協力していただき、大会を大成功に終えることができました。この経験を活かして今後の LOM 活動に邁進してまいります。最後にこのような貴重な機会をいただけたことに感謝申し上げ、出向者報告を閉じさせていただきます。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022.11.2 3 12.10	神戸ポートピアホテル 伊丹市(各開催場所)	第 0 回ブロック大会運営委員会 第 1 回ブロック大会運営委員会 第 2 回ブロック大会運営委員会
2023.01.2 8 02.04	尼崎市中小企業センター 神戸ポートピアホテル 西脇経済センタービル ウイズあかし	第 3 回ブロック大会運営委員会 第 4 回ブロック大会運営委員会 第 5 回ブロック大会運営委員会
03.25 04.26	三田市まちづくり協動センター	第 6 回ブロック大会運営委員会 第 7 回ブロック大会運営委員会
05.31 06.29 07.15 07.28 08.04 08.09 08.16 08.20	神戸市教育会館 伊丹市立産業振興センター 伊丹市立産業振興センター 伊丹市立産業振興センター 伊丹市立産業振興センター 伊丹小学校及び東リいたみホール、三軒寺前広場	第 8 回ブロック大会運営委員会 第 9 回ブロック大会運営委員会 第 10 回ブロック大会運営委員会 第 11 回ブロック大会運営委員会 第 12 回ブロック大会運営委員会 第 56 回ブロック大会伊丹大会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財務規則審査会議 議員 原 亜里沙



本年度、兵庫ブロック財務規則審査会議に出向させていただきました。役割としては、兵庫ブロック協議会で実施される事業の根幹となる議案を財務、コンプライアンスの観点から精査し、健全で適切な事業の遂行を担保する役割を担うことでした。他LOMの方々の様々な視点もある中で議案と向きあい精査する姿を拝見し、今までになかつた新たな考え方や観点があることを気づかされ、貴重な学びの機会となりました。このような貴重な機会をいただけたことに感謝申し上げ、出向者報告を閉じさせていただきます。

出向記録

年月日	場所	内容
2023.2.8	夢海游 淡路島4F	LOM役員懇談会 (JCI淡路)
2023.2.20	ZOOM	第2回財務規則審査・コンプライアンス会議
2023.5.22	ZOOM	第5回財務規則審査・コンプライアンス会議
2023.6.12	ZOOM	第6回財務規則審査・コンプライアンス会議
2023.7.12	ZOOM	第7回財務規則審査・コンプライアンス会議
2023.12.12	豊岡	第12回財務規則審査・コンプライアンス会議

9. 監 事 報 告

監事

川越 勇輔

三浦 義崇



2023年度の監事として、組織としての運営の決定機関である理事会において、議論されるべき各事業の目的、事業内容、予算執行、決算が的確に行われているのかを確認させていただきました。また、理事長公室並びに各委員会が企画運営する例会、事業の円滑な運営や新たなる試みに対して、それらが審議通りに行われているのか、青年会議所運動として適正かどうかという点に意識を置きながら監事をさせていただきました。特に、私たち監事が培ってきた経験や知識を皆様にお伝えするとともに、客観的な視点からの質問、意見をさせていただいたと思っております。その中、今年度はスムーズに全ての事業を実施することができたことは、理事会構成メンバーの一員として大変うれしく思います。三役の皆さん、そして公室長、委員長の皆様、一年間本当に疲れさまでした。一般社団法人淡路青年会議所が来年度も変わらず、淡路島の未来のために邁進していただきますことを祈念いたしまして、監事報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

10. 会員動行

1. 2022年度末 会員数

正会員 44名 特別会員 347名 準会員 2名

2. 2023年度入会者

新入会者名	推薦者		
織田 享祐	横山 泰明	小川 優一	伊東 明信
岡崎 哲英	横山 泰明	小川 優一	網島 幸治
中村 芽生	横山 奈津紀	小川 優一	木戸 隆一郎
長谷 英典	横山 奈津紀	小川 優一	天羽 一真
橋詰 京平	横山 奈津紀	木戸 隆一郎	中山 貴子
秦 健二	横山 奈津紀	小川 優一	坂本 敏行
藤本 朋大	横山 奈津紀	小川 優一	伊東 明信
百合 修一	横山 奈津紀	小川 優一	坂本 敏行

3. 2023年度 会員数

正会員 51名 特別会員 356名

4. 2023年度 退会者

岩崎 直美

5. 2023年度 休会者

なし

6. 2023年 物故会員

河井 義樹 左海 省吾 飛松 雅二 松浦 啓雄 真野 耕治

7. 2023年度 除名者

なし

8. 2023年度末会員数

正会員 51名 特別会員 351名 準会員 1名

9. 2023年度 卒業生

網島 幸治 織田 享祐 横野 芳博 岸本 有宏 高田 祥平 谷口 優 濱 健一
前川 英亮 三浦 義崇 若林 晋一郎

10. 2023年度 役員選考委員

伊山 真司 植野 泰幸 川越 勇輔 木戸 隆一郎 濱 健一 三浦 義崇 横山 奈津紀
横山 泰明

11. 2023年度(一社)法人淡路青年会議所役員名簿

理 事 長	伊 山 真 司
直前理事長兼監事	川 越 勇 輔
監 事	三 浦 義 崇
副 理 事 長	濱 健 一
	植 野 泰 幸
	横 山 奈津紀
	横 山 泰 明
専 務 理 事	木 戸 隆一郎
出 向 理 事	津 田 和 典
	若 林 晋一郎
理 事	伊 東 明 信
理 事	小 川 優 一
理 事	坂 本 敏 行
理 事	高 田 祥 平
理 事	戸 田 敦 大
理 事	三 澤 大 祐

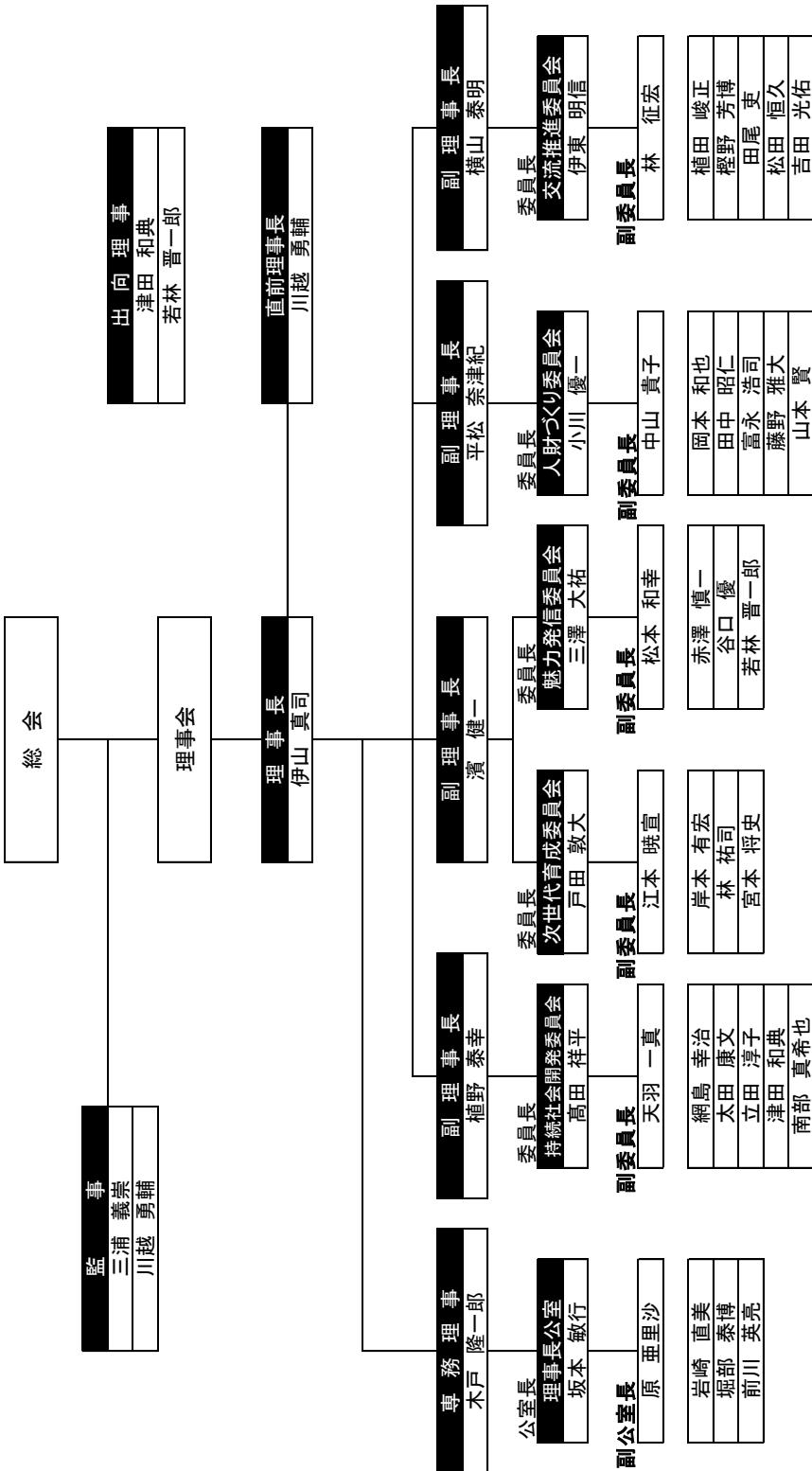
12. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出向先	役職	出向者氏名
監査担当役員	監査担当役員	三浦 義崇
三浦監査担当役員セクレタリー		堀部 泰博
三浦監査担当役員セクレタリー		樺野 芳博
JCI日本連携推進会議	議員	中山 貴子
兵庫の未来創造委員会	委員	若林 晋一郎
兵庫アカデミー委員会	委員	林 征宏
	委員	江本 晓宣
ブランディング戦略委員会	委員	松本 和幸
ブロック大会運営委員会	委員	津田 和典
財務規則審査会議	議員	原 亜里沙

13. 組織及び委員会構成

2023年度一般社団法人淡路青年会議所組織図(案)



14. 褒賞一覧

1. 最優秀委員会賞 魅力発信委員会
2. 優秀委員会賞 次世代育成委員会
3. 最優秀事業賞 持続社会開発委員会
「愛すべき淡路島の未来～新時代を捉え淡路島をひとつに～」
4. 最優秀会員賞 中山貴子（人財づくり委員会）
5. 優秀会員賞 松本和幸（魅力発信委員会）
6. 最優秀新会員賞 藤本朋大（交流推進委員会）
7. 優秀新会員賞 中村芽生（魅力発信委員会）
8. 特別功労賞 三浦義崇
9. 例会出席奨励賞 伊山 真司 小川 優一 川越 勇輔 三浦 義崇
濱 健一 植野 泰幸 横山 奈津紀 坂本 敏行
高田 祥平 津田 和典 戸田 敦大 岸本 有宏
林 祐司 中山 貴子 伊東 明信 横野 芳博
合計 16名
10. 卒業生感謝状 綱島 幸治 織田 享祐 横野 芳博 岸本 有弘
高田 祥平 谷口 優 濱 健一 前川 英亮
三浦 義崇 若林 晋一郎
合計 10名

15. 決 算 報 告

賃 借 対 照 表

令和5年12月31日現在

(単位:円)

科目	決算	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	11,041,597	
未収金		
前渡金		
立替金		
保管保証金		
流動資産合計	11,041,597	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産合計		
(2) 特定財産		
特定財産合計		
(3) その他固定資産		
什器備品	114,843	
有価証券	10,000	
敷金		
その他固定資産合計	124,843	
資産合計	11,166,440	
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
指定正味財産合計		
2. 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)		
(うち特定財産への充当額)		
一般正味財産合計	11,166,440	
負債及び正味財産合計	11,166,440	

正味財産増減決算書(案)

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

科 目	決算額 R5.1.1～R5.12.31	補正予算額 R5.1.1～R5.12.31	修正予算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R5.1.1～R5.12.31	決算額 R4.1.1～R4.12.31	予算額 R4.1.1～R4.12.31	備考
I 一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
①受取入会金	400,000	300,000	100,000	50,000	300,000		8名 × 50,000
②受取会費	7,885,000	7,810,000	7,470,000	7,310,000	8,360,000	7,880,000	
正会員受取会費	7,615,000	7,540,000	7,200,000	7,040,000	8,000,000	7,520,000	44名 × 160,000 - 2名 × 80,000 - 4名 ×
その他受取会費	270,000	270,000	270,000	270,000	360,000	360,000	卒業生9名 × 30,000
③事業収益	1,221,000	0	0	0	455,000	0	
受託事業収益	0	0	0	0	0	0	
登録料	966,000	0	0	0	0	0	
その他事業収益	255,000	0	0	0	455,000	0	
④受取負担金	0	0	0	0	0	0	
⑤寄付金	420,000				630,000		
⑥雑収益	505	500	500	500	510	500	
受取利息	105	500	500	500	110	500	
配当金	400	0	0	0	400	0	
雑収益	3,570	0	0	0	13,660	0	
経常収益計	9,930,075	8,110,500	7,570,500	7,360,500	9,759,170	7,880,500	
(2)経常費用							
①事業費							
給料手当	0	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	
会議費 貸借料	642,305	718,950	713,150	697,150	1,501,156	747,739	
消耗品費	390,551	579,591	588,631	583,464	725,957	993,144	※予備費を計上する
レンタル料	215,000	0	215,000	0	22,000	0	
食糧費	20,130	20,000	20,130	0	66,888	315,000	
人件費	0	0	0	0	0		
支払手数料	150,000	150,000	150,000	0	81,000	190,000	
講師関係費	422,835	693,240	690,000	690,000	147,200	353,300	
謝礼金	890,580	1,110,000	1,030,000	1,030,000	30,000	520,000	
資料作成費	774,850	375,000	375,000	375,000	1,104,295	692,675	
広告普及費	275,691	115,000	115,000	115,000	1,050,149	869,500	
報告書作成費	4,670	990	4,670	0	26,025	1,100	
旅費交通費	0	0	0	0	32,840	0	
交際費	966,000	0	966,000	0	0	0	
保険料	9,760	0	9,760	0	45,030	40,000	
印刷製本費	350,000	545,000	350,000	0	483,700	1,198,700	
通信運搬費	17,086	16,789	16,789	25,756	112,797	243,772	
支払負担金	10,000	10,000	10,000	0	10,000	16,000	
雑費	6,670	57,000	57,000	73,000	3,740	62,070	
事業費計	5,146,128	4,391,560	5,311,130	3,589,370	5,442,777	6,243,000	

科 目	決算額 R5.1.1～R5.12.31	補正予算額 R5.1.1～R5.12.31	修正予算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R5.1.1～R5.12.31	決算額 R3.1.1～R3.12.31	予算額 R3.1.1～R3.12.31	備考
②管理費							
会議費	0	0	0	0	24,000	24,000	
給料手当	1,120,206	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,079,824	1,030,000	
退職給付引当金							
福利厚生費	132,410	160,000	150,000	150,000	129,721	150,000	交通費・雇用保険料・制服
渉外費	286,168	300,000	300,000	300,000	182,767	300,000	豪賞￥60,000+各種登録￥108,000
慶弔費	48,000	100,000	100,000	100,000	55,705	100,000	
減価償却費	76,562	100,000	100,000	100,000	130,319	100,000	
消耗品費	199,948	500,000	500,000	500,000	497,447	460,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	
通信費	392,614	400,000	300,000	300,000	344,537	450,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	32,505	30,000	30,000	30,000	30,558	30,000	
賃借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	￥100,000×12ヶ月
光熱水料費	335,866	390,000	380,000	380,000	375,409	380,000	
保険料	25,220	26,000	26,000	26,000	25,220	19,000	火災保険
謝礼金	16,500	20,000	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	0	50,000	50,000	50,000	0	50,000	
租税公課	35,340	40,000	40,000	40,000	34,740	40,000	印紙代・県民税(￥22,000)
雜費	123,701	120,000	100,000	100,000	121,851	100,000	登記代・振手・備品
小計	4,025,040	4,536,000	4,396,000	4,396,000	4,248,598	4,453,000	
③負担金							
JCI会費	97,110	97,110	97,110	94,952	78,208	78,208	￥2,158×45名
日本JC会費	255,000	255,000	255,000	250,000	265,000	265,000	￥30,000+￥5,000×45名
国際協力資金	82,125	82,125	82,125	80,300	85,775	85,775	￥5×365日×45名
近畿地区会費	83,000	83,000	83,000	81,200	86,600	86,600	￥2,000+￥1,800×45名
兵庫ブロック会費	265,000	265,000	265,000	260,000	275,000	275,000	￥40,000+￥5,000×45名
淡路島日本遺産委員会							
小計	782,235	782,235	782,235	766,452	790,583	790,583	
管理費計	4,807,275	5,318,235	5,178,235	5,162,452	5,039,181	5,243,583	
経常費用計	9,953,403	9,709,795	10,489,365	8,751,822	10,481,958	11,486,583	
当期経常増減額	△ 23,328	△ 1,599,295	△ 2,918,885	△ 1,391,322	△ 722,788	△ 3,806,083	
2.経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	
経常外費用増減額							
一般正味財産増減額	△ 23,328	△ 1,599,295	△ 2,918,885	△ 1,391,322	△ 722,788	△ 3,806,083	
一般正味財産期首残高	11,189,768	11,189,768	11,189,768		11,912,555		
一般正味財産期末残高	11,166,440	9,590,473	8,270,903		11,189,767		
Ⅱ正味財産期末残高	11,166,440	9,590,473	8,270,903		11,189,767		

2023年度 財産目録

2023年12月31日現在
単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
流動資産	現金・預金	計	11,051,597
	現 金	0	
	淡路信用金庫 本町支店 普通預金	3,850,237	No.0454865
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金	3,301,022	No.0300206
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金	1,011,281	No.0319813
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金	688,565	No.0319821
	淡路信用金庫 本店営業部 普通預金	300,057	No.0321012
	淡路信用金庫 本町支店 普通預金	1,890,435	No.0749012
	淡路信用金庫 本町支店 有価証券	10,000	No.21942

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……旧定率法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
パーテーション	271,950	271,949	1
コピー機	432,000	431,999	1
コピー機	550,000	435,159	114,841
合 計	1,253,950	1,139,107	114,843

自 2023年1月1日
至 2023年12月31日

2023年度事業収益明細一覧

2023年度 契付金収入明細一覧

寄付金	寄付金	0				
	一般寄付金	150,000				
		270,000				
	小計	420,000				
	合計	420,000				

一般社団法人淡路青年会議所 2023年度 法人全体正味財産増減決算書(案)

2023年度 物 品 目 錄

2023年12月31日現在
単位：円

科 目	数 量	金 額	摘要
物 品			
保管庫・スチール書庫	1 個	75,000	
旗三脚セット	1 セット	10,000	
電話機	2 台	144,200	1995年度購入分
デスクコーナー	1 台	75,190	1996年度購入分
デスク	1 台	95,069	1996年度購入分
デスク	1 台	82,297	1996年度購入分
デスク	1 台	95,790	1996年度購入分
パソコンラック	2 台	16,171	1996年度購入分
チェア	1 脚	28,634	1996年度購入分
チェア	2 脚	43,878	1996年度購入分
チェア	1 脚	20,600	1996年度購入分
パーテーション	1 脚	133,200	1996年度購入分
ウォールロッカー	1 台	37,389	1996年度購入分
両開き保管庫	3 台	81,267	1996年度購入分
引違いガラス保管庫	3 台	100,425	1996年度購入分
深型保管庫	3 台	79,413	1996年度購入分
会議テーブル	2 台	68,392	1996年度購入分
会議椅子	1 2脚	97,644	1996年度購入分
ホワイトボード	1 枚	17,325	1996年度購入分
月間予定表	1 枚	15,398	1996年度購入分
月間掲示板	1 枚	31,734	1996年度購入分
トランシバー	7 台		某氏寄贈
ハンドマイク	1 台	20,611	2000年度購入分
国旗	1 旗	7,350	2000年度購入分
会議テーブル	1 5台	155,000	2003年度購入分
パイプ椅子	2 0脚	29,200	2003年度購入分
ファンヒーター	2 台	51,600	2003年度購入分
玄関表札	1 基	100,000	2003年度卒業生寄贈
ゴングマーク	1 個	10,000	2006年度購入分
卓上旗セット	1 式	7,840	2006年度購入分
JCIプレート	1 基	19,950	2006年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1 式	19,425	2006年度卒業生寄贈
耐火金庫	1 台	81,900	2006年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1 台	84,000	2006年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	159,500	2007年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1 台	26,800	2008年度購入分
空気清浄機	2 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
液晶テレビ	1 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1 台	180,000	2010年度購入分
掃除機	1 台	13,440	2010年度購入分
パーテーション	2 台	99,750	2011年度卒業生寄贈
JCI旗	1 枚	20,000	2012年度卒業生寄贈
日の丸旗	1 枚	9,000	2012年度卒業生寄贈
awaji旗	1 枚	25,000	2012年度卒業生寄贈
のぼり（淡路JC）	1 0枚	29,000	2013年度購入分
FAX	1 台	47,250	2014年度卒業生寄贈
パソコン	1 台	98,280	2014年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	108,000	2015年度卒業生寄贈
パソコンプリンター	1 台	50,760	2015年度卒業生寄贈
卓上旗セット	1 台	8,364	2016年度購入分
JCI旗	1 枚	28,500	2016年度卒業生寄贈
冷蔵庫	1 台	24,084	2018年度購入分
淡路の未来フォーラムのぼり	1 0枚		2018年度某氏寄贈
ボール	1 0本		2018年度某氏寄贈
スタッキングチェア	2 0脚	172,800	2019年度卒業生寄贈
のぼり（淡路JC）	1 0枚	20,000	2019年購入分
のぼり（ともいく事業）	4 枚		2019年購入分
アクリル板	2 0枚	110,000	2020年購入分
換気扇・空気清浄機	各 1 台	116,666	2020年購入分
ブレジデンシャルリース	1 個	140,000	2020年度卒業生寄贈
ブレジデンシャルリースケース	1 個	27,000	2020年度卒業生寄贈
演台	1 台	15,290	2021年度購入分
旗三脚	1 台	11,990	2022年度購入分
ピックバナースタンド	1 式	77,550	2022年度購入分
パナソニックデジタルビデオ	1 台	36,080	2021年度卒業生寄贈
三脚	1 台	7,693	2021年度卒業生寄贈
キヤノン一眼レフカメラ	1 台	115,819	2021年度卒業生寄贈
月間スケジュールボード	1 枚	13,042	2022年度購入分
SDカード	2 枚	8,756	2022年度購入分
外付けハードディスク/カードリーダー	各1個	15,252	2022年度購入分
合 計		3,871,558	

16. 監査報告

一般社団法人淡路青年会議所

代表理事 伊山 真司 殿

私たち監事は、令和5年1月1日から令和5年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方針に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示してしるものと認めます。

令和5年 月 日

一般社団法人淡路青年会議所

監事

印

監事

印

17-1. 資料 事業別写真

1月例会 第20回定期総会



2023年度 一般社団法人淡路青年会議所 新年式典



2月例会

琢切琢磨～LOM役員懇談会～磨



3月例会

～魅力あるLOMへの道しるべ～



4月例会 新時代意識改革講座



第 28 回わんぱく相撲淡路場所



5月例会

～次世代と共に創る絆～



6月例会

「選す～輝く未来のために～」



淡路島一市推進事業

「愛すべき淡路島の未来～新時代を捉え淡路島をひとつに～」



7月例会

「Intelligence～大切な情報を守るために～」



8月例会

団結～新たなる交流!!～ 第19回臨時総会



9月例会

～次なるステージへ STEP UP～



10月例会

certiorem～伝えることで動き出す～



11月例会

笑顔満祭～笑う門には福来る～



12月例会

For the family



18-2. 資 料 新聞記事切抜

集まれ児童力士

23日、淡路 わんぱく相撲

淡路島内の小学生が土俵で競う「第28回わんぱく相撲淡路場所」が、淡路市岩屋の市立石屋小学校で23日に開かれる。参加は無料で、主催の淡路青年会議所が出場する児童を募集している。

4～6年は男女別、1～3年は男女混合で実施する。

4～6年で優勝すると、6月に西宮市で開かれる兵庫ブロック大会に進み、ブロック大会でも優勝すると、男子は東京・両国国技館で、女子は新潟県でそれぞれ開催される全国大会に出場できる。

淡路青年会議所の戸田敦大さんは「挑戦する気持ちを大切にし、思い切って相

撲に取り組んでほしい」とエールを送っている。

参加は淡路青年会議所のホームページから申し込む。まわしがない場合は貸し出しある。締め切りは14日。問い合わせは同会議所（0799・22・6611）。



わんぱく相撲の参加を呼びかける淡路青年会議所のメンバー（洲本市で）＝同会議所提供

読売新聞 4月8日

島内の「小学生力士」集まれ

23日、わんぱく相撲淡路場所

参加を呼びかける淡路青年会議所の伊山真司理事長（左）ら（同会議所提供）

14日まで参加者募集

賞すると、男子は東京都で、女子は新潟県で開かれる全国大会への出場権を得る。

参加無料。まわしを用意できない参加者には貸し出しある。

参加希望者は、同会議所のホームページにある申し込みフォームに必要事項を入力する。問い合わせは同会議所（0799・22・6611）。

淡路島内の小学生を対象にした相撲大会「わんぱく相撲淡路場所」が開かれる。主催する淡路青年会議所は14日まで参加者を募集している。（荻野俊太郎）

淡路市 同会議所が青少年の健全育成を目的に1993年から続け、28回目になる。

3年生以下は男女混合、4年生以上は男女別でそれ競う。4年生以上の男女優勝者の2人は、6月17日に西宮市で予定されている県大会に進む。さらに県大会で上位に入

神戸新聞 4月10日

小学生力士懸命に

わんぱく相撲

60人が技競う

淡路島の小学生力士が土俵上で競う

「わんぱく相撲淡路

場所」が23日、淡路

市立石屋小学校であつた。島内の小学生約60人が、まわし姿で力いっぱいぶつかり合つた。

青少年の健全育成を目的に、淡路青年会議所が主催。1～3年は男女混合、4～6年は男女別で頂点を目指す。

子どもたちは「はつけよ

い」のかけ声で、真剣な表情で相手と組み合つた。

素早い立ち合いや、土俵際の粘り腰も見せた。投げ技が決まるごとに、観客席から大きな歓声が上がつた。

4年生以上の男女優勝者は、6月17日に西宮市で予定されている県大会に出場する。同大会で上位に入つ

た選手は、男子が7月に両国国技館（東京）で、女子が9月に新潟県で開かれる全国大会への切符を手にする。

（荻野俊太郎）

成績は次の通り。

1年①山中一稀（大野）②藤川

瑠央（南あわじ相撲道場）③永所

大誠（志筑）④志筑

（志筑）⑤若口弦士（南あわじ相

撲道場）⑥山口大陽（神代）⑦3

年①金一矢万杜（岡乃）②谷口晴

（南

（複列）③内海明緒（北波）④

（北波）⑤山田航裕（北波）⑥

（北波）⑦5年女子①林

心陽菜（学習）②戸田有咲（学習）

③八田藍蘭（学習）④6年男子①

和玖（福良）⑤5年男子①内海伟

依（北波）②義内彰人（複列）③

（北波）④佐藤櫻樹（中田）⑤吉見

和玖（福良）⑥5年男子①内海伟

依（北波）②義内彰人（複列）③

きょう、東京

阿万小・黒田君と倭文小・堤君

相撲全国大会に出場

祝 全国大会出場選手壮行会



わんぱく相撲全国大会に出場する黒田萩音君
=南あわじ市役所

南あわじ

30日に両国国技館
(東京都)で開かれ
るわんぱく相撲全国
大会に、南あわじ市
の阿万小学校6年黒田萩音
君と倭文小4年の堤暉龍君
が出席する。市役所での壮
行会に出席した黒田君は3
度目の全国大会。「今年こ

そ優勝を目指して頑張りた
い」と力を込めた。
黒田君は1年生の時、地
元の相撲道場で競技を始め
た。素早い動きで相手を押
し出す取り組みが得意。相
撲をする同年代は少なく、
小学校の土俵などで父親ら
と練習に汗を流す。

身長153cm、体重70kg。
同級生と比較すると天柄だ
が「全国大会ではもうど天
きい子どもがごろごろい
る」と黒田君。昨年は1回
戦で体重100kgの選手と
対戦し、涙をのんだ。
今年は、雪辱を果たすた

め、動画配信サイトで大相
撲の取組を研究し、四股踏
みやスクワットで下半身の
強化にも取り組む。「持ち
味はスピード。大きな相手
が力を発揮する前に試合を
決めたい」と意気込む。
(西竹唯太朗)



堤暉龍君

神戸新聞 7月30日

島を一つのデジタル圏に

洲本 河野太郎氏が講演

「一十一化が暮らしを豊かにする」と訴える
河野太郎氏＝洲本市文化体育館



河野太郎デジタル相が9日、洲本市であつた淡路島内の「IT化を考える講演会「愛すべき淡路島の未来」新时代を捉え淡路島をひとつに」で、日本の「デジタル化の現状などを語つた。

淡路青年会議所（JCI）の主催、一般公募した約400人が参加した。

河野氏は、日本の「デジタル化について」コロナ禍を体験し、国民はデジタル化が進んでいないことに気付かされた。ワクチン接種や10万円給付の際にデータがなく、行政は紙と手作業で対応した」と切り出した。その原因を「20世紀にアナログ技術が進んで不便を感じなかつたため、ついていけなかつた」と説明。「人

口が減る中、人間にしかできないこととAI（人工知能）やロボットでもできることを分ける。その先に人が人に寄り添う、温かな地

焼肉
あばらや

☎0799-62-5129 淡路市池内9-1
営業時間／平日16時より 士・日・祝正午より
定休日／月曜日（祝日の場合は営業）

域社会ができる」と力を込めた。

また、トラブル続きの「ナンバーカードについて」「保険証を一体化すれば、診察券や各種受給証を持た

神戸新聞 7月11日

2024年度 事業報告書

2024年1月1日～2024年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一般社団法人
淡路青年会議所

2024年度 スローガン

Go Beyond!!

～今、この瞬間が未来へ繋がる～



2024年度 理事長

横山 奈津紀

1. 2024 年度 理事長所信

はじめに

61 年間、先輩諸兄姉が地域に対する想いを繋ぎ築き上げてきた淡路青年会議所の 62 年目をお預かりする理事長として、また JCI 淡路で初めての女性理事長という重責を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。そして、強い使命感を持って責務を果たし、地域と組織の発展に寄与していくことをお約束いたします。

近年の日本では、「いかなる性別、年齢、国籍などにかかわらず、それぞれの個性や能力を活かして活躍できる社会」ダイバーシティ&インクルージョンを推進する動きがみられています。こうした時代の潮流に伴い、「育 LOM」「ベビーファースト」など多様な働き方に対応した運動が青年会議所でも増えています。JCI 淡路においても、2020 年度より女性会員が活動しやすい環境作りの一環として産休制度が設けられました。そして、ライフスタイルが多様化している昨今において、組織として多様な人財の活躍を促進するためには、多様性の受容が重要となると考えます。多様な価値観を受け入れることは、新たな可能性を開き、組織のイノベーションに繋がります。ひとつくり、まちづくりにおいても、今ある現状に新しい息吹を与え、今日より明日を、そしてその先の未来をより良く変えていきます。そのことが私たちの使命と信じて！

未来へと受け継いでいく淡路島に

1970 年開催の大阪万博からおよそ半世紀ぶり、2005 年に開催された愛・地球博からも 20 年ぶりとなる日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催が来年に迫り、準備も最終局面を迎えていきます。郊外近郊の各自治体も開催を見据え、来場者を地域へ集客するための準備が進められています。淡路島は現在、多方面で注目されており、そのことはメディアの露出回数、コロナ禍以降も来島者数が高い位置にあることを見ても明らかです。しかし、来島者の 7 割以上が県内や大阪府からのマイクロツーリズムであることから、経済効果の伸び悩みが課題です。淡路島の経済を豊かにすることは、島内各地域を活気づけ淡路島の発展に繋がります。大きな経済波及効果が期待できる来年の日本国際博覧会の機会を見据えて、新たにユニバーサルツーリズムの需要の取り込みに向けた環境整備を見直し、広い視点で観光振興へ繋げる戦略的な取組が必要です。歴史・伝統・文化の多彩な魅力溢れる淡路島の発信と、これまで淡路島民が地域のために粘り強く尽力してきたこともしっかりと活かして、取り組むべきことを見定めて邁進していきます。

共に活動する同志へ

私たち Jaycee は青年会議所が理想とする「明るい豊かな社会」の実現に向けて活動しています。私はその意味を、地域をより良くするための奉仕と捉えています。地域に良い変革をもたらすことは、決して簡単なことではなく、多くのメンバーの協力と団結が必要です。私たちが活動する中で、考え方や物の見方の違いから意見が対立してしまうこともあります。しかし、多種多様なメンバーが集う青年会議所だからこそ、様々な価値観が互いの新たな気づきや学びの機会を増やし、共に成長しながら、イノベーションを起こすことができるのではないか。だからこそ今年度は、多種多様な人財の活躍推進に取り組むとともに、組織の更なる STEP UP に繋げるべく、理念普及に尽力していきます。優れたメンバーであっても個人プレーではなく、メンバーと力を合わせ「共に」という精神を持って行動する大切さを共有していきます。互いの価値観を認め合い、互いを信じ、補い助け合える仲間を増やしていくことで、簡単ではないことも乗り越えられる、そんな素晴らしいメンバーづくりを行っていきます。

効果的な発信力を！「淡路島の魅力を世界へ」

広報は、一方的な情報発信ではなく、人々との良好な関係や信頼関係を築く役割も含んでいます。我々の活動の広報においても、組織の認知度や価値を高めることに繋がる効果的な情報発信を意識すべきです。効果的な情報発信に欠かせないのが、SNS 等の媒体を活用した戦略的な広報です。情報発信のスピードや量、質など効果に影響する様々な要素を整理し、無作為ではなく焦点を当て取り組むことが必要です。また、現状の調査と収集、分析を怠ってはいけません。これまで記録として扱われていた例会や事業の構築段階の様子も、貴重な情報資源として担当委員会が主軸となり、メンバー全員で情報を発信する意識を広めていきましょう。そして、対内とのコミュニケーション手段の一つとして活用されている広報誌も、毎月の例会や事業の様子以外にも各メンバーのことを広く知っていただく発信に力を入れ、その効果を最大限に発揮できる在り方を考え、魅力的な発信ツールについていきます。

感謝の気持ちを持って

「仕事、プライベート、青年会議所」という 3 つの環境の中で生活するようになると、周りから不安や心配の声を掛けられるようになったと言う話を耳にします。しかし、私はこの 3 つの環境から得られる経験によって、それぞれ違った気づきや学びがあると感じています。3 つの両立を図ることは周りの理解や協力が必要で、信頼関係の上で成り立つものと言えます。周りとの信頼関係を築くには、自分自身の努力が必要です。相手に対し「感謝」と「思いやり」の心を持ち、それを相手に伝えることを忘れず、互いが支え合っているという意識を持つことが大切です。人を迎える時も、お願いをする時も、笑顔は感

謝の気持ちを表す基本となります。その基本姿勢と前向きな行動が、より良い好循環を生み人生をより豊かなものにしてくれると私は考えます。そういった魅力的なメンバーを増やすことで、メンバーの「仕事、プライベート、青年会議所」の両立を応援し支えていく組織の構築へと繋げていきます。そして、現在私達が新しい事にチャレンジできている環境があるのは、これまで先輩諸兄姉が築いてきた淡路青年会議所の歴史があることを決して忘れてはいけません。今一度その先輩方の努力にも「感謝」の心を持ち、活動に取り組んでいきましょう。

次世代へ贈る、輝かしい未来のために

私たちの生活は、経済社会の発展や情報化社会の発達により物質的に豊かで便利になった反面、地域や人との対面でのつながりよりも個人の生活を重視する風潮が見られるようになりました。地域における人間関係は希薄になり、人ととのつながりの中で人を育てるという地域や家庭が担っていた機能も弱まっています。昔は当たり前にあった、子ども達が公園や空き地で夢中で遊びまわっている光景も目にすることも少なくなり、子ども達を取り巻く環境の変化というものを肌で感じています。子どもが成長し自立する上で必要となる多様な体験の機会までが消えてしまうことは深刻な問題です。私たちは、これまで培ってきた他団体との信頼関係やノウハウを活かしながら、心の豊かさやたくましく生きる力を育むための体験の機会を子どもたちに与え、人ととのつながりの中で得られる体験の魅力を感じていただけるように青少年の育成に取り組んでいきます。

結びに

私は祖父に、「地元を大切にしなさい、どんな時も人の繋がりを大切にしなさい」と言われてきました。何もないところからスタートした祖父は、「人に助けられながらここまでやってきた」とまだ小さかった私によく話していたのを覚えております。数年前に祖父が亡くなった後、人づてに、祖父もまた人のために生きていたことを知る出来事がありました。私自身もその経験を通して、人が昔を振り返った時に、特別な思い出を共有できるような行動を共にしたい、そのために積極的に沢山の人と深く関わりたいと強く願うようになりました。それまでなかった価値観が私の言動を変えたことにより、皆様からこの度の機会をいただけたのであれば、私は一緒に活動しているメンバーには様々な価値観に触れてほしいと心から願います。幸運にも、一緒に活動していくメンバーには皆エネルギーがあり、前向きで、人のために行動することができます。そんなメンバーと一緒に、40歳までという限られた時間の中でできることは全てチャレンジしていきます。「人のために、地域のために、淡路島のために。」メンバー全員がその気持ちを持つことで、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると信じています。困難な状況ですら共に楽しみ、前進ていきましょう！

2. 基本方針

一、感謝の気持ちを持って行動しましょう！

一、多角的な視点で物事を捉えましょう！

一、新たなことにチャレンジしていきましょう！

3. 副理事長抱負

副理事長 戸田 敦大



伊東 明信



木戸 隆一郎



横山 泰明



1949年の戦後の混沌とした時代に明るい豊かな社会の実現を目指し、日本で最初の青年会議所運動が東京で起こりました。その情熱は全国の志ある若者に拡がり、1963年に全国で237番目の青年会議所として淡路青年会議所が組織されました。「淡路はひとつ」の基本理念のもと地域のさらなる発展に寄与していくために、メンバー一人ひとりが一般社団法人淡路青年会議所の意義と目的を理解し、能動的に活動する必要があります。

我々副理事長は、理事長の指示する方針を公室長・委員長を通してメンバーに浸透させる必要があります。そのために三役間で意思疎通を行い、意思を統一することが求められます。また、本年度は初めて理事となる委員長が多いことにも留意し、綿密なコミュニケーションを図り、理事長の方針や青年会議所の理念に沿った活動に繋げる必要があります。そして、よりよい活動に繋げるためには、JC活動の基盤である委員会の活性化が必要不可欠です。委員会において徹底した調査を行い、メンバー間の自由闊達な意見による積極的な議論がなければ本質的な事業とはなりません。そのためにも指導的立場から率先して活動するとともに、各委員会、例会、事業への相互の協力体制を強化するという原点に立ち戻った意識の醸成をはかってまいります。また、副理事長としてメンバーの模範となるため、利他の精神でもって「奉仕・修練・友情」の三信条のもと JAYCEEとしての矜持を保つことが求められます。地域のため、組織のため、仲間のため、そしてメンバー一人ひとりの成長に繋がる機会の創出のために率先垂範して活動してまいります。

我々副理事長は本年度のJC活動・運動を成功させることが最も重要な使命であります。一人ひとりが JAYCEEの意識を持って活動し、理事長が指示する方針を遂行するために全力で役割を全うし、「明るい豊かな淡路島」の実現のために邁進してまいります。

基本方針

1. 理事長の指示する方針と組織の意義をメンバーに伝え意識の共有を徹底します。
2. メンバー間の関わりを深め団結力を高めます。
3. JAYCEEとしての自覚と責任を全メンバーに伝えます。

4. 専務理事抱負

専務理事 坂本 敏行



我々一般社団法人淡路青年会議所は、「淡路はひとつ」という基本理念のもと、時代の先駆けとなる活動を展開してまいりました。様々な個性と価値観を持った個人が、基本理念のもと理事長が掲げる所信に基づいて、組織として1年間の活動を共にします。共に活動する機会を通じて、大きな成長と成果を得るために、組織としての強い団結力を持ち、挑戦する気持ちを全員に深く浸透させる必要があります。

先輩諸兄姉がこれまで繋いできた伝統をさらに昇華させ、新たな可能性を示すために、地域の変化や時代の流れを常に捉え、新しい意見や考え方を柔軟に受け入れていく組織風土の醸成が重要と考えます。また、メンバー一人ひとりの組織に対して貢献意欲を高め、挑戦する気持ちを強く持ち続けられる体制を整備することで、互いに高め合っていく組織を構築します。そのために、専務理事として対外対内の総合窓口として組織全体の相互調整を行い、メンバーとのコミュニケーションを大切に行うことで、支援体制を構築してまいります。全メンバーが40歳までの貴重な時間を無駄にせず、共に悩み語らい歩み、各委員会が最大の力を発揮できるように、効率的かつ本質的な議論が行われる場を整えてまいります。また、法人格を有する団体であることをメンバーが自覚し、定款や運営規則、コンプライアンスを遵守し、誠意ある姿勢で活動することで、特別会員や他LOM、他団体などと今まで以上の関係を築き、延いては地域の信頼を得ていけるように行動してまいります。

新たな可能性を示すためには、基盤である組織運営を円滑に行うことが重要と考えます。理事長が理想とする未来に向けて、繋がりと挑戦する気持ちを大切に、メンバー一丸となって取り組むことで「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

基本方針

1. 理事長所信を完遂するために、職務を全うする
2. 本質を見極め、組織運営の改善改良を図る
3. コミュニケーションを大切に、新しい可能性を捉える

5. 監 事 抱 負

監事 植野 泰幸



監事 川越 勇輔



組織が抱える課題や問題点は、時代の流れと共に多様に変化し、その時代の流れに対応すると共に、先駆的な行動を基に挑戦していかなければなりません。また景気の低迷やそれに伴う経済の疲弊などにより、メンバーの減少やまちづくりへの参加意識の低下を引き起こさせるとなく、JCI 淡路の存在意義の再確認や価値観を共有し、明るい豊かな社会の実現を目指して参ります。私たちは監事として、これまで培ってきた経験や知識、そして、諸先輩方から受け継いできた意思を、惜しむことなくメンバーの皆様方に伝えて参ります。同時に、時代に呼応した考え方を否定することなく、それらが素晴らしい形で実現できるようサポート役に努めます。その際に苦言を呈することもあるかもしれません、皆様方には一定のご理解、そしてご容赦をいただきながら一年間全うして参る所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室 公室長 田中 昭仁



我々一般社団法人淡路青年会議所は創立当初より「淡路はひとつ」という基本理念のもと、活動や運動を行ってきました。今後も「明るい豊かな淡路島」の実現に向け、率先して活動する団体としてあり続け、存在価値を向上していかなければなりません。組織が機能する上で理事長公室の役割は、理事長が目指す未来を実現するために、各委員会が目標達成に向け、活動ができるように円滑な組織運営を心がける必要があります。

理事長公室は、理事長の秘書的業務および専務理事の補佐、理事会・三役会の設営等やJCI 淡路の基礎的業務などを迅速かつ正確に行なうことが役割であります。まず理事会においては、活発な議論がなされるように、目配り、気配り、心配りをおこない、意見を出しやすい環境を整えてまいります。また三役関係、各委員長とのコミュニケーションに重点を置き、パイプ役としての機能を担うとともに、理事長の掲げる所信に基づいた組織となるようサポート致します。円滑な組織運営を図るには、メンバー全体の協力が必要となります。その為、各委員会の状況を把握する必要があり、各委員長と積極的にコミュニケーションをとれる場を設けます。さらに我々にはJCI 淡路の調整役としての機能もあるため、メンバーとコミュニケーションをとる機会が多くあります。その機会を生かし、積極的に信頼関係の構築に努めます。このように相互理解を深めるだけでなく、問題に対する解決やアイデアの創造を促し、お互いに協力できる関係性を築き上げる一助となり、組織がより強固なものにしていきます。

理事長公室として、お互いの想いを共有し率先してコミュニケーションをはかり、三役関係と各委員長を繋ぐパイプ役になることにより、円滑な組織運営ができ、メンバーの一体感が高まることで、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

スローガン

膠漆之心 ～団結のちから～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・例会の企画・設営及び運営	1月	1月例会の企画及び運営	正会員 準会員	64,800	例会設営費
・例会の企画・設営及び運営	6月	6月例会の企画及び運営	正会員 準会員	30,800	例会設営費
・会員名簿の作成	2月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	363,000	名簿作成費
・総合資料の作成	2月	PDF データ一及び CD-R	正会員 特別会員	1,000	
			合計	459,600	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（2回） ・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー ・会員名簿の作成 ・2024年度総合資料の作成 ・総会の設営及び運営、総会資料の作成 ・褒賞に関する報告書作成及び 褒賞委員会企画・設営及び運営 ・公的出向の際のLOMナイトの企画・設営 ・理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐 ・一般庶務事項及び発送文章の管理 ・選挙管理委員会の設置 ・財務に関する処理及びコストダウンの調査 ・年会費・入会金の調査 ・会費の徴収 ・涉外業務全般 ・事務局全般にわたる業務及び管理 ・理事会の設営及び議事録の作成 ・三役会の設営 ・通信案内簿及び諸記録の整理 ・会員拡大に関する業務 （関連委員会との連絡調整） ・公室活動の記録保存 ・全事業への参加協力 ・理事長諮詢に関する答申業務 ・ゴルフ同好会・卒業コンペの開催	1・6月 通年 2月 2月 2月 通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年 前・後期 通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年 6月 通年 通年 通年 通年 通年 6月・10月	例会の企画・設営及び運営 会員名簿の発行 PDF データ一及び CD-R

社会開発委員会 委員長 小川 優一



少子高齢化、若者世代の流出が続き、過疎化が進行する淡路島において、地域経済の成長に欠かせないのは観光産業の発展です。近年、注目が集まる淡路島は、島外資本の積極的な進出やコロナ禍の影響でマイクロツーリズム志向が高まったことにより、観光分野が賑わいを見せています。地域経済をより豊かにするには、これを産業へと波及させることが重要であり、そのためにも新たな観光振興へ取り組みを強めていくことが必要です。

淡路島には古事記の国生み神話から始まる独自の歴史や文化、四方を海に囲まれた島が持つ豊かな自然と四季折々の素晴らしい景観、そして御食国と言われる古くから天皇家に献上されるほどの素晴らしい食材の数々など、多くの強みがあります。また、新たな観光開発や観光コンテンツが増加したことで淡路島の更なる魅力に繋がっていると言えます。一方で、京阪神地区からのアクセスの容易性はあるものの、観光基盤やインフラの整備は万全とは言えず、関西地域、近隣県以外の遠方からの観光客数が少ないとから観光消費における伸び悩みが課題となっています。そのため、日本全国や海外から多くの人々が訪れると予想される2025年の大阪・関西万博の開催を新たな観光振興へ前進する好機と捉え、国内外からの観光客誘客を図るための観光戦略を官民一体で共有し観光産業の発展へと繋げてまいります。一般社団法人淡路青年会議所では、様々な視点から淡路島を分析し、「ターゲット」、「コンセプト」、「ポジショニング」などを明確化して、時代の変化に即応し新しいトレンドを創造する力を呼び覚ます機会の提供へと邁進してまいります。淡路島全体を一つの観光対象と捉え、官民一体でブランディングの確立に取組み、淡路島を訪れる方々に新たな価値を提供することで、地域産業に大きな経済波及効果を生み出します。そのことが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信いたします。

スローガン

『destination』～未来へつながる道しるべ～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・例会の企画・設営及び運営	5月	5月例会の企画及び運営	正会員 準会員	80,000	例会設営費
・社会開発事業	8月	社会開発事業	島内外	1,000,000	事業費
			合計	1,080,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営	5月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダנסの案内及びフォロー	通年	
・社会開発事業の企画・設営及び運営	8月	社会開発企画・設営及び運営
・会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮詢に関する答申業務	通年	

次世代育成委員会 委員長 田尾 吏



一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」を基本理念とし、「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて活動してまいりました。そして今この歴史の上にある私たちが担うべき役割は、この基本理念と意志を受け継ぐことに加え、未来を担う子どもたちが経験し学ぶ機会を創出すること、そして今を担う者としての我々一人ひとりが当事者意識を持って積極的に学び、地域社会が抱える問題に取り組むことによってよき変化を実現することです。

次世代の育成という課題に取り組むにあたっては、子どもたちと我々自身のそれぞれにアプローチする必要があると考えます。今なお進行し続ける少子化による経済的、社会的な変容の影響下にある子どもたちに対して、私たちが提供出来る機会のひとつがわんぱく相撲淡路場所です。この事業の実施は子どもたちの思い出作りに留まらず、次世代を担うにあたって必要となる自主性や社会性といった人間的資質を育む好機となります。加えて我々自身も青年経済人として、また次世代が活躍する環境を醸成する当事者として、様々な場面で良質なアウトプットを求められる機会があります。このアウトプットの質を担保する大きな要因のひとつがインプットの量であるため、JCI 淡路のメンバー個々人がより多くの知識や経験を得られる機会を持つこと、そしてその一つひとつに対して積極的な姿勢で取り組むことが重要であると考えます。地域社会にとって前向きな変化をもたらす過程においては、我々自身も資質を育み、組織全体としての人的資本向上に取り組むことが必要不可欠です。

先人の意志と基本理念を受け継ぐとともに、我々一人ひとりが時代の当事者たる自覚を持って積極的に学び、課題へ取り組むことによって地域社会と子どもたちの未来に良き変化をもたらし、「明るい豊かな淡路島」の実現へつながると確信しております。

スローガン

積土成山

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・例会の企画・設営及び運営	3月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	22,200	例会設営費
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	4月	わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	淡路島内の小学生	254,500	わんぱく相撲淡路場所設営費
・例会の企画・設営及び運営	10月	講師例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	186,500	例会設営費
			合計	463,200	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営	3・10月	例会の企画・設営及び運営
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	4月	わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダنسの案内及びフォロー	通年	例会欠席者へのアテンダنسの案内及びフォロー
・会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)
・委員会活動の記録保存	通年	委員会活動の記録保存
・全事業への参加協力	通年	全事業への参加協力
・理事長諮問に関する答申業務	通年	理事長諮問に関する答申業務

広報戦略委員会 委員長 原 亜里沙



私たち一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」の基本理念のもと活動してまいりました。先輩諸兄姉方の思いを繋ぎ、新たな飛躍の年とすべく活動するためには、組織の認知度を高めるための情報発信に注力しなければなりません。そのためには JCI 淡路メンバー各々の魅力を発信し、私たちを取り巻く全ての方々に JCI 淡路の魅力や活動意義、目的を発信し、知って頂く必要があります。

今年度、当委員会では「戦略的な広報」の役割をいただきました。一人でも多くの方に JCI 淡路の活動に关心を抱いて頂けるよう SNS 等の媒体を通じて、「メンバーが輝いている姿を発信すること」をテーマとし取り組みます。そのためには JCI 淡路での例会や事業の構築段階の様子も積極的に発信してまいります。また、活動背景だけでなくメンバー自身の情報も発信することで親近感を抱き、興味を持って頂けるよう取り組みます。SNS を活用した広報活動においては日本語記述だけではなく他言語でも情報を発信していきます。他言語で情報を発信することでより多くの方に JCI 淡路の魅力を伝えることも当委員会の重要な役割ではないかと考えています。「対内広報誌」においては既存の内容だけでなく、新メンバー、既存メンバーの情報も発信することで対内広報誌をコミュニケーションツールとして活用することを想定しています。対内から魅力ある情報を発信することで JCI 淡路の活動を認知していただき、それが JCI 淡路の会員拡大活動にも繋がると認識し委員会一丸となって活動に邁進してまいります。

JCI 淡路内でのメンバーの繋がりを深め、対内外へ伝えていくことで、それが魅力となり会員拡大への一助となることが「明るい豊かな淡路島」への実現へと繋がると確信しております。

スローガン

WE CAN & WE WILL

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額 (円)	備考
・例会企画・設営及び運営	4月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	186,500	例会設営費
・例会企画・設営及び運営	11月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	26,500	例会設営費
・ホームページの運営・管理	通年			225,000	ホームページ運営費
・広報・メディアの活用（ホームページ、SNS等の有効利用）	通年				
・対内広報誌の発行	通年		正会員 準会員 特別会員	120,800	広報誌発行費
			合計	558,800	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営 ・例会欠席者へのアテンダנסの案内及びフォロー ・対内広報誌の発行 ・ホームページの管理・運営 ・広報・メディアの活用 ・デジタルデータによる活動記録の保存 ・総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成 ・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整） ・委員会活動の記録保存 ・全事業への参加協力 ・理事長諮詢に関する答申業務	4月・11月 通年	例会の企画・設営及び運営 年4回

交流委員会 委員長 中山 貴子



一般社団法人淡路青年会議所がこれまでの運動を昇華し、さらに地域によりよい変化をもたらすには、メンバー同士の協力と団結がより重要となります。その基盤を作り上げるためににはメンバー間の繋がりを強固にすることが我々交流委員会の役割であると考えます。その実現のために、まずは私たち交流委員会自身が一丸となり一つの目標に向かって活動に取り組み、メンバー同士が結束をより深め、友情を育む取組を推進する必要があります。

交流のもっとも大きな目標はより強固な絆を築くことであると考えます。それによってメンバー一人ひとりが新しい情報や知識を得ることができます。そのために当委員会ではコミュニケーション能力も含めたスキルの向上に繋がる出会いを創出し、モチベーションアップや精神面も鍛える新たな発見の多い事業の企画・運営に努めます。当委員会の役割としては、最初の事業である新年会の企画運営、各例会の企画、設営及び運営などの担いがあります。新年のスタートには、理事長の所信と新体制ならびに方針を多くの方に、お披露目します。メンバー全員でお越し頂いた皆様へこれまでの感謝を伝えるとともに、おもてなしを悉なく取り組み、2024年度の最高のスタートにしてまいります。例会においては、メンバー同士が切磋琢磨し交流を深め、お互いの能力やアイデアを引き出し合い、どのような意見でも交わすことのできるより強い絆を築くことができます。礼節を重んじた固い関わりだけでなく、メンバー各々がその時を楽しみながらJC活動が行えるような環境を作つてまいります。

メンバー同士の交流は私たちの絆を深め、より強固な基盤を築き、大きな壁を全員で乗り越える原動力となります。だれもが輝きをはなち笑顔の溢れる団体になり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

スローガン

「感謝」～人と人の繋がりで輝きを～

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）	備考
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他LOM	370,000	新年会設営費
・例会の企画・設営及び運営	8月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	22,200	例会設営費
・例会の企画・設営及び運営	12月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	191,450	例会設営費
・LOM役員懇談会の企画・設営及び運営	3月	LOM役員懇談会の企画・設営及び運営	兵庫ブロック協議会役員団正会員	67,000	LOM役員懇談会設営費
			合計	650,650	

役割業務	実施月	業務内容
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営（2回）	8月・12月	例会の企画・設営及び運営
・LOM役員懇談会の企画・設営及び運営	3月	LOM役員懇談会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダنس の案内及びフォロー	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

会員拡大委員会 委員長 松田 恒久



我々一般社団法人淡路青年会議所は、今年で62年目を迎えます。基本理念である「淡路はひとつ」のもと、これまで多種多様なまちづくり活動に取り組んでまいりました。そして2025年には大阪・関西万博の開催が控えており、近隣に位置する淡路島への注目が一層高まることは必至です。この好機に向けて、JCI淡路の活躍の場をさらに広げるためには、共に活動する同志を増やすことが非常に重要になります。

当委員会では、過去の入会候補者リストと拡大活動報告を精査し、候補者を見出すとともに、新たな候補者を見つけるために、現役メンバーの周りにいる入会候補者の情報収集を行います。各メンバーが会員拡大を自らの使命として捉え、自発的な活動を促し、全てのメンバーの意識を高めるために、入会候補者リストと拡大活動状況の可視化を図ります。また、JCI淡路の活動内容を入会候補者により伝わりやすくするためのツールを作成し、メンバーが拡大活動に取り組みやすい環境を整えます。

さらに、入会候補者が例会や事業に参加する際には、事前案内から会場誘導、懇親会までのサポートを徹底し、メンバーとの交流の機会を提供し、JCI淡路の例会や活動を直に体験してもらいます。また、例会や活動に参加後のアフターフォローを当委員会が先頭を切って行います。事業内容やメンバーの人柄を知ってもらうとともに、JCI淡路の魅力を知ってもらうことにより入会候補者を確実に入会へと導いてまいります。

会員同士が意思疎通を図ることで、互いに刺激を受け、共に成長することが期待できます。そして、同志が増えることにより、新たな繋がりが生まれることで、地域のリーダーとなる人財が増えることが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

スローガン

Take Action ~今こそ全員拡大~

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額 (円)	備考
・例会企画・設営及び運営	2月	例会企画・設営及び運営	正会員 準会員	76,734	例会設営費
・例会企画・設営及び運営	7月	例会企画・設営及び運営	正会員 準会員	135,600	例会設営費
・例会企画・設営及び運営	9月	例会企画・設営及び運営	正会員 準会員	142,500	例会設営費
・拡大パンフレット作成	1月	拡大活動時使用	入会候補者	19,250	発行部数 350枚
			合計	374,084	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（3回） ・例会欠席者へのアテンダנסの案内及びフォロー ・会員拡大に関する統括業務（各委員会・公室との連絡調整） ・委員会活動の記録保存 ・全事業への参加協力 ・理事長諮問に関する答申業務	2月・7月・9月 通年 通年 通年 通年	例会の企画・設営及び運営

7. 出向者抱負

公益社団法人日本青年会議所
会員拡大委員会

委員 川越 勇輔



公益社団法人日本青年会議所拡大委員会に出向させていただきました。日本全国で会員拡大が課題となっている今、各地の事例やノウハウをしっかりと学びJCI淡路にフィードバックできるように努めてまいります。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本JC連携推進会議

議員 田尾 吏



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会日本JC連携推進会議に出向させていただきました。本会議においては、他LOMに所属する皆様と親交を深めることに加え、活動を通じて学び、切磋琢磨することで、自身が所属するLOM内の活動にも良い刺激を与えられるよう頂いた機会を最大限活用出来ればと考えています。1年間精一杯努める所存でございますので、どうぞよろしくお願ひします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JC運動拡大会議

委員 松田 恒久



本年度、兵庫ブロック協議会JC運動拡大会議に出向させていただきました。
ブロック委員会にて会員拡大に関する手法や情報を共有することにより、一つでも多くのことを持ち帰り、LOMの会員拡大活動に活かしていきたいと考えております。
1年間という限られた期間ではございますが、委員会活動に精一杯努めさせていただきますので、宜しくお願ひ申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の未来創造委員会

委員 三澤 大祐



兵庫ブロック協議会 兵庫の未来創造委員会に出向させて頂く事となりました。今年度の兵庫の未来創造委員会の役割といたしまして、会員会議所各理事長と兵庫県知事との知事懇談会の実施、少年少女サッカーJC カップ兵庫大会開催、誰もが政治参画出来る仕組みの構築などを担っております。

ブロックに出向させていただける事に感謝すると共に、ブロック委員会に関わる事によって新たな考え方や捉え方を学びや気づきを頂き。そして、LOM に1つでも多くの事を持って次年度以降へ引継ぎしていくたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 藤本 朋大



本年度、兵庫アカデミー委員会に出校させて頂くことになりました。当委員会の事業計画には『経験年数が浅いメンバーへの教育方法が課題である』との旨の記載があり、私としては、兵庫アカデミー委員会に参加することで、仲間と共に成長し、地域のリーダーとしての活躍するためのスキルや洞察を得たいと考えております。また、JC の理念を深く理解し JC の可能性や楽しさを体感し、自身の LOM でのリーダーシップを育みたいと思っております。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 中村 芽生



本年度、兵庫アカデミーへ出向させて頂く事になりました。昨年、入会したばかりの未熟者ではございますが、出向させて頂き、感謝申し上げます。アカデミーでの交流を深め、人脈を広げて、他 LOM を知り学んで、自 LOM に持ち帰って来たいと思っております。少しでも淡路JC の為に貢献出来る様努めて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会 委員 立田 淳子



兵庫アカデミーの立田淳子です。

出身は中国黒龍江省です。来日 12 年目です。人生理念は成長、愛、誠実です。

各議会の仕組みを勉強したくて、今年は自己成長をして、また学び生かして、淡路 JC で活かしていきたいと思います。宜しくお願ひ致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JC ブランディング戦略委員会 委員 原 亜里沙



本年度、兵庫ブロック協議会ブランディング戦略委員会へ出向させて頂くことになりました。各 LOM の人々と交流し、魅力ある事業を学び経験として得たものを自 LOM に少しでも持ち帰れるよう、精一杯努めて参りますので 1 年間よろしくお願い致します。貴重な機械の提供ありがとうございます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会運営委員会 委員 藤野 雅大



本年度ブロック大会運営委員会に出向させていただくことになりました。

本年のブロック大会は加古川の地で行われます。

県内の LOM のメンバーはもとより、地域の皆様にも喜んでいただき魅力溢れるブロック大会にして参ります。どうぞ宜しくお願いします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財政規則審査会議 議員 津田 和典



本年度、兵庫ブロック協議会財務規則審査会議に出向させて頂くことになりました。同議会は兵庫ブロックの各議長委員長が上程した議案について、財務面やコンプライアンス面から審査を行います。審査を行っていく過程で新たな経験と知見を得て LOM 活動に還元したいと思います。

精一杯頑張ってまいりますので宜しくお願い申し上げます。

8. 正味財産増減予算

自 2024 年 1 月 1 日

至 2024 年 12 月 31 日

単位：円

科 目	修正予算額 R6.1.1～R6.12.31	予算額 R6.1.1～R6.12.31	決算額 R4.1.1～R4.12.31	予算額 R4.1.1～R4.12.31	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 受取入会金	50,000	50,000	300,000		1名 × ¥50,000
② 受取会費	7,180,000	7,180,000	8,360,000	7,880,000	
正会員受取会費	6,880,000	6,880,000	8,000,000	7,520,000	43名 × ¥160,000
その他受取会費	300,000	300,000	360,000	360,000	卒業生10名 × ¥30,000
③ 事業収益	0	0	455,000	0	
受託事業収益	0	0	0	0	
登録料	0	0	0	0	
その他事業収益	0	0	455,000	0	
④ 受取負担金	0	0	0	0	
⑤ 寄付金			630,000		
⑥ 雑収益	500	500	511	500	
受取利息	500	500	111	500	
配当金	0	0	400	0	
雑収益	0	0	13,500	0	
経常収益計	7,230,500	7,230,500	9,759,011	7,880,500	
(2) 経常費用					
① 事業費					
給料手当	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	
会議費 貸借料	947,950	843,565	1,599,606	747,739	
消耗品費	220,050	326,659	627,507	993,144	※予備費を計上する
レンタル料	80,000	80,000	22,000	0	
食糧費	20,000	20,000	66,888	315,000	
人件費	0	0	0	0	
支払手数料	150,000	150,000	81,000	190,000	
講師関係費	885,690	795,000	147,200	353,300	
謝礼金	150,000	250,000	30,000	520,000	
資料作成費	341,800	341,800	1,104,295	692,675	
広告普及費	192,500	192,500	1,050,149	869,500	
報告書作成費	990	990	26,025	1,100	
旅費交通費	0	0	32,840	0	
交際費	0	0	0	0	
保険料	10,000	10,000	45,030	40,000	
印刷製本費	377,250	377,250	483,700	1,198,700	
通信運搬費	14,704	14,620	112,797	243,772	
支払負担金	0	0	10,000	16,000	
雑費	97,100	85,450	3,740	62,070	
事業費計	3,488,034	3,487,834	5,442,777	6,243,000	

科 目	修正予算額 R6.1.1～R6.12.31	予算額 R6.1.1～R6.12.31	決算額 R4.1.1～R4.12.31	予算額 R4.1.1～R4.12.31	備考
②管理費					
会議費	0	0	24,000	24,000	洲本商工会議所会費
給料手当	1,100,000	1,100,000	1,079,824	1,030,000	
退職給付引当金					
福利厚生費	160,000	160,000	129,721	150,000	交通費・雇用保険料・制服
涉外費	400,000	400,000	182,767	300,000	旅費¥60,000+各種登録料108,000+明石周遊¥100,000
慶弔費	100,000	100,000	44,750	100,000	
減価償却費	100,000	100,000	130,319	100,000	
消耗品費	500,000	500,000	497,447	460,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	
通信費	400,000	400,000	346,243	450,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,000	30,000	30,558	30,000	
貢借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	¥100,000×12ヶ月
光熱水料費	390,000	390,000	375,519	380,000	
保険料	26,000	26,000	25,220	19,000	火災保険
謝礼金	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	0	50,000	
租税公課	40,000	40,000	34,740	40,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	120,000	120,000	121,576	100,000	登記代・振手・備品
小計	4,636,000	4,636,000	4,239,184	4,453,000	
③負担金					
JCI会費	96,148	96,148	78,208	78,208	¥2,236×43名
日本JC会費	245,000	245,000	265,000	265,000	¥30,000+¥5,000×43名
国際協力資金	78,475	78,475	85,775	85,775	¥5×365日×43名
近畿地区会費	79,400	79,400	86,600	86,600	¥2,000+¥1,800×43名
兵庫ブロック会費	255,000	255,000	275,000	275,000	¥40,000+¥5,000×43名
淡路島日本遺産委員会					
小計	754,023	754,023	790,583	790,583	
管理費計	5,390,023	5,390,023	5,029,767	5,243,583	
経常費用計	8,878,057	8,877,857	10,472,544	11,486,583	
当期経常増減額	△ 1,647,557	△ 1,647,357	△ 713,533	△ 3,606,083	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
経常外費用増減額					
一般正味財産増減額	△ 1,647,557	△ 1,647,357	△ 713,533	△ 3,606,083	
一般正味財産期首残高			11,912,555		
一般正味財産期末残高			11,199,021		
Ⅱ正味財産期末残高			11,199,021		

9. 役員名簿

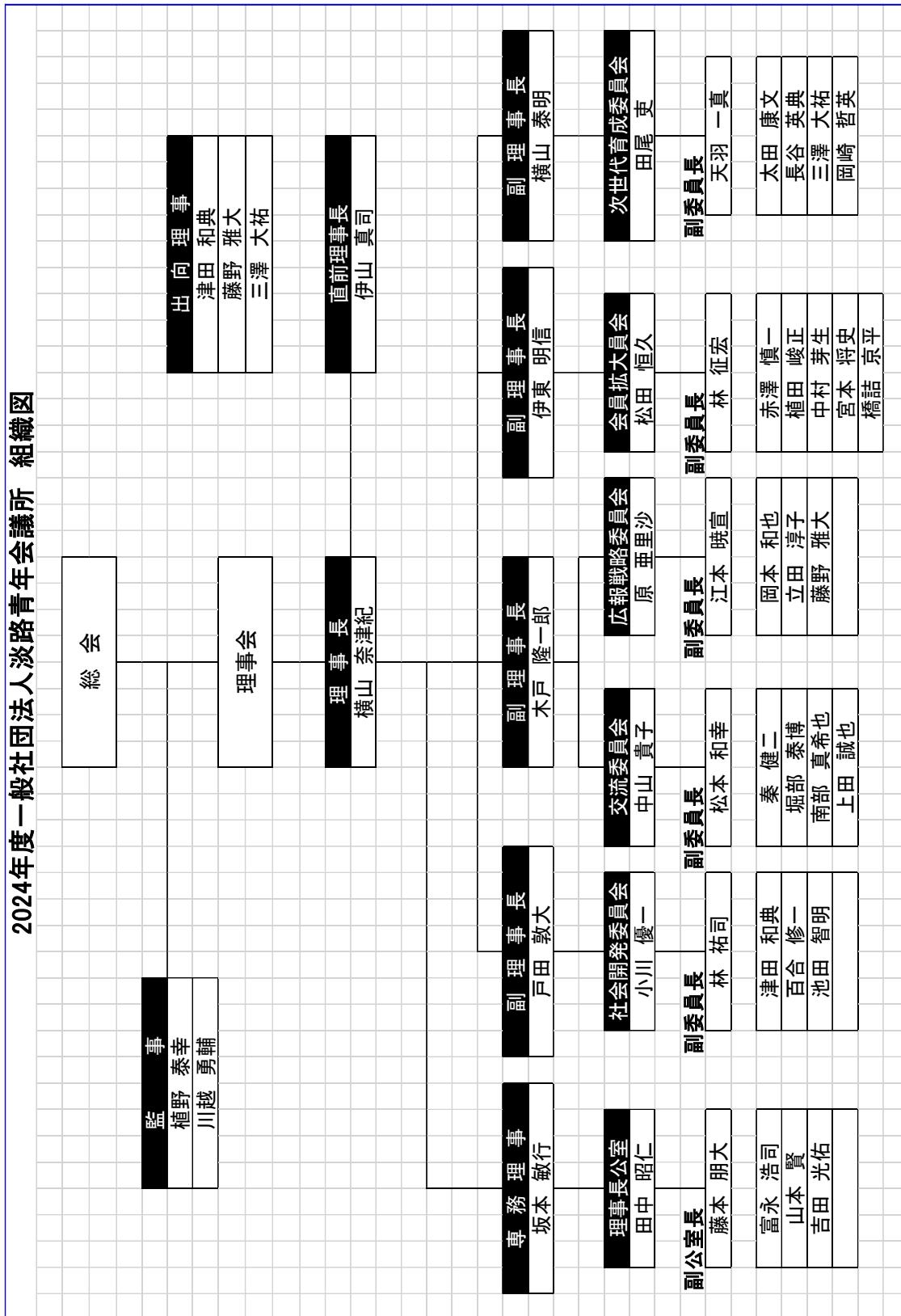
【理事長】	横山 奈津紀	
【直前理事長】	伊山 真司	
【監事】	植野 泰幸	
【監事】	川越 祐輔	
【副理事長】	戸田 敦大	
	伊東 明信	
	木戸 隆一	
	横山 泰明	
【専務理事】	坂本 敏行	
【出向理事】	津田 和典	
【出向理事】	藤野 雅大	
【出向理事】	三澤 大祐	
【理事】	田中 昭仁	小川 優一
	田尾 吏	原 亜里沙
	中山 貴子	松田 恒久

10. 出向者一覧

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会】

日本JC連携推進会議	田尾 吏
JC運動拡大会議	松田 恒久
兵庫の未来創造委員会	三澤 大祐
兵庫アカデミー委員会	藤本 朋大
	中村 芽生
	立田 淳子
JCブランディング戦略委員会	原 亜里沙
ブロック大会運営委員会	藤野 雅大
財政規則審査会議	津田 和典

11. 組織図及び委員会構成



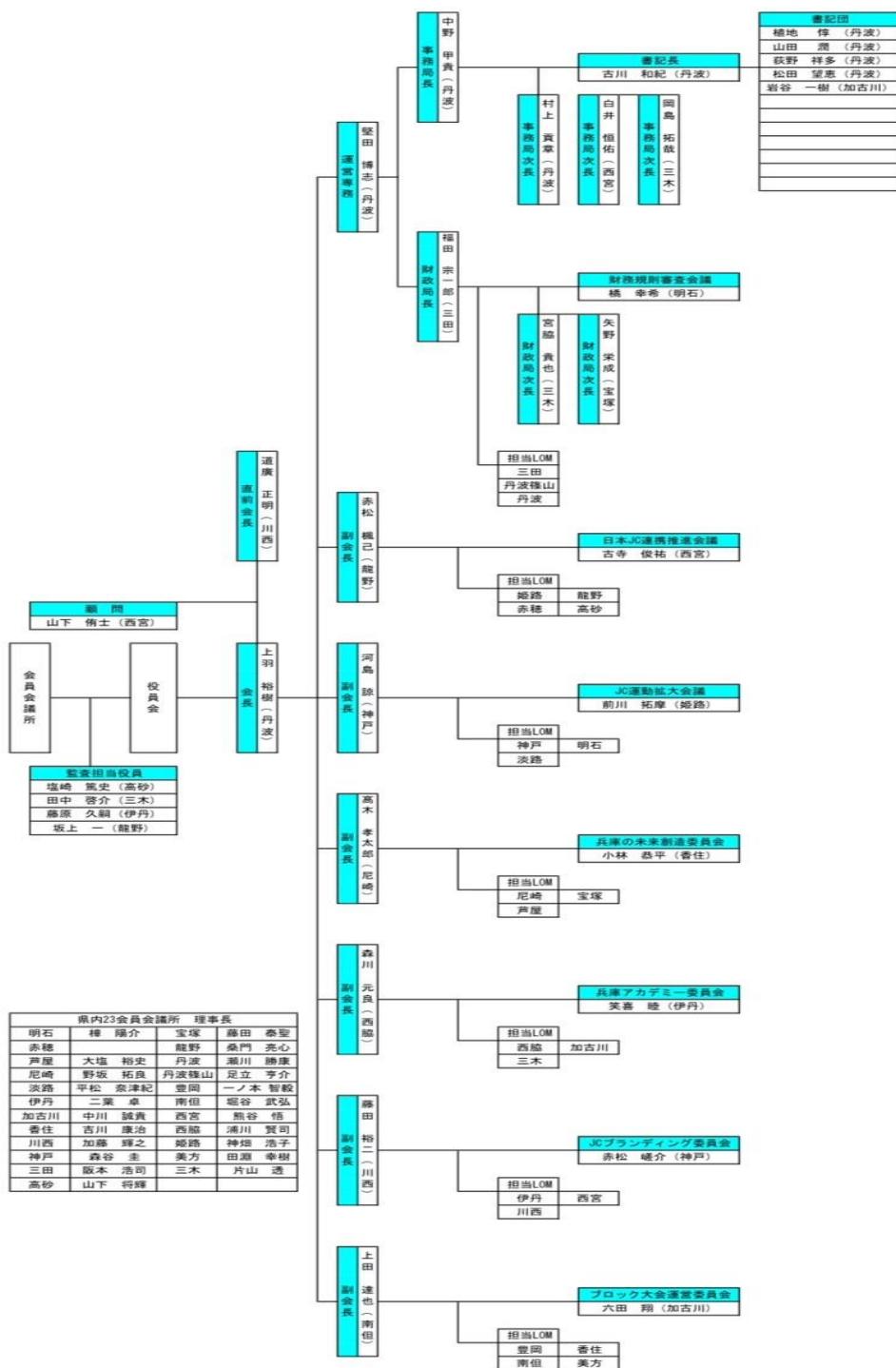
12. 年間スケジュール

2024年度 年間スケジュール

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例 会	10日(水) 1月例会 18:30~20:30 伊弉諾宮	14日(水) 2月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	13日(水) 3月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	10日(水) 4月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	8日(水) 5月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	12日(水) 6月例会 18:30~20:00 多目的	10日(水) 7月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	7日(水) 8月例会 18:30~20:30 洲本市文化体育館	11日(水) 9月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	13日(水) 10月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	11日(水) 11月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	11日(水) 12月例会 17:30~20:00 多目的	
総 会	10日(水) 第22回年輪総会	4日(木) 17:30~19:30 理 事 会	7日(水) 19:00~21:30 3 役 会	6日(水) 19:00~21:30 26日(月) 25日(月)	3日(水) 19:00~21:30 27日(月)	5日(水) 19:00~21:30 24日(月)	3日(水) 19:00~21:30 22日(月)	4日(水) 19:00~21:30 23日(月)	7月31日(水) 2日(水)	9月例会 4日(水)	10月例会 6日(水)	11月例会 4日(水)	11月例会 19:00~21:30
日本青年会議所	18日(木)~21日(日)	京都会議・懇親会 23日(土)	懇親会(東京) 23日(土)	25日(月)	27日(月)	24日(月)	22日(月)	26日(月)	23日(月)	28日(月)	25日(月)	23日(月)	
JCI関係													
近畿	会員会議所会議 地区事業	19日(金) 京都							会員会議所・地区大会会場(奈良)				
兵庫	会員会議所会議 正副会長会議 口頭委員長会議	10日(土) WEB 17日(土) WEB	10日(土) 神戸 17日(土) 神戸	23日(土) 龍野 6日(水) WEB	23日(土) 西脇 5日(金) WEB	23日(土) 尼崎 3日(月) WEB	23日(土) 南但 3日(月) WEB	23日(土) WEB	13日(土)				23日(月)
ク	LOM役員懇親会												
協議会	その他事業	24日(水) 会頭訪問(神戸)	24日(水) 会頭訪問(神戸)	24日(水) 竹篠の日		JCカップ 日()							
兵庫プロジェクト内 各地周年記念式典													
各 委 員 会 事 業 計 画	理事事長公室	第2回定期会 会員名簿作成						6月例会	第2回臨時会				第2回定期会
	社会開発						5月例会		社会開発事業				
	次世代育成			3月例会	第2回カムバく相談路 場所					10月例会			
	広報部	広報部会 内広報誌発行 ホームページ制作・運営			4月例会						11月例会		
会員拡大	新年会 新年会								8月例会				12月例会
									7月例会	9月例会			

13. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議会組織図

公益社団法人日本青年会議所 2024年度近畿地区兵庫ブロック協議会 組織図





Aweji Island